

【談話 5】IE（1 世）－白岩（調査者）（－IF（1 世）） 57 分 42 秒

収録地点：ピラール・ド・スールの IE 氏の自宅

収録日：2012 年 9 月 8 日

話者の関係：IE と IF は夫婦。IF は途中で風呂に行くので IE と白岩の会話が主となる。IF は白岩の親戚の友人にあたり、IE、IF、白岩の 3 人はともに福島県保原町（現伊達市）出身。白岩はピラール・ド・スールで 3 泊 4 日の調査をおこなったが、その間、2 泊目の晩をのぞき、IE・IF 夫婦の家に泊めていただいている。この談話は滞在最終日の 3 日目の晩に収録したもの。

■ 仕事の話（0:00～）

【IE は農業のかたわら釣り堀を営んでいる。白岩（調査者）がその釣り堀のチラシを受け取る場所から話が始まる。IF は夕食の後片づけをしながら会話に参加している】

IE:【チラシを渡し】これが***だ。

白:これが? あー、pesqueiro《釣り堀》の。

IE:これは、まあ、***ここに電話かけたらまずいな。

IF:não《いや》。

白:pesqueiro《釣り堀》に電話かけたらまずいんですか。

IF:いや、先に。

IE:いや、****。

白:あー、あー、あー、こっこのほうね【電話なら釣り堀ではなく IE の自宅のほうにかけたほうがよいということ】。

IF:pesqueiro《釣り堀》はここと【電話の回線が】同じだから。

白:んー。ですよね。(IF:んー)【電話を】こっちでとったり向こうでとったり。

【補足説明：ピラール・ド・スール】



この談話を収録したピラール・ド・スールはサンパウロから南西に約 120km。人口約 2～3 万の小さな町。農業を営む日系人が多く住んでいる。IE、IF 夫妻をはじめ、町の方々に大きなご協力をいただいた。写真は町の遠景。

談話 5

IF：そうよ。

{間}

白：【釣堀のチラシにカレンダーが載っているのを見て】このカレンダーの色ついてんのは何ですか。

IE：はい？

白：このカレンダー…

IE：それ、魚、釣れる…（白：あー）ね、時期ね。

{間}

白：じゃ、この黄色のときにはこれを釣って、これが釣れると。

IE：verde《緑》。

白：verde《緑》？

IE：うん。

白：週ごとに違うんですか、これ。

IE：あー、semana《週》…

白：semana《週》ごとに。

IE：うん。

白：ふーん。

{間}

■ 地元にいたときの話（1:10～）

白：お父さんは、（IE：うん）飯坂の生まれ？

IE：いやいや。生^んまれたの？

白：ん、だから、* * * *。

IE：ん、いや、生まれたのは北海道だよ。

白：〇〇【IE の名前】さんは、北海道の浜中でしょ？

IE：そうよ。

IF：うん、うん。

白：〇〇【IE の名前】さんのお父さんは…

IE：飯坂。

白：飯坂。ふーん。お母さんは？

IE：あ、あれは、今の…〇〇【IE の出身集落（伊達市保原町内。細かな地名な

ので伏せる)】

白：あー、じゃあ、お母さんのところに戻ったっていうわけですね。

IE：そうそう、そうそう。

白：生ま…れだのが、えっと、だがら、何年でしたっけ？

IF：33 年【1933 年】？

IE：33 年。昭和＊＊。

白：あー、33…、昭和 8 年。〇〇【IF の名前】さんが、さんじゅ…

IF：＊ ＊ ＊ ＊ ＊、ん？ 私は 36 年。

白：^{さんじゅうろく}3 6 年。あ、じゃあ 3 歳違い。

IE：＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊。

白：ふーん、＊ {間} で、え、9 歳のときに〇〇【IE の出身集落】に行ったと。

IE：そうそう、そうそう。

白：うんうん、浜中から。

IE：うん。いちね、1 年生…だな。

白：^{いじ}1 年生。

IF：9 歳で 1 年生？

IE：いや。＊ ＊ ＊ ＊。

IF：＊ ＊ ＊、3 年生ぐらい＊ ＊。

IE：3 年じゃねえよ、1 年で来たんだから。

IF：じゃあ、9 歳じゃないの？

IE：は、8 歳だ。

白：うん。

IF：＊ ＊ ＊ ＊。

白：で、あとは、その一、【話題表の項目を見ながら】＊ ＊、この辺は飛ばしてもいいんだけど…、学校は〇〇【IE の母校名】小学校ですよ。

IE：そうですよ。

白：ふーん。で、俺が〇〇【白岩の母校名】小学校で、〇〇【IF の名前】さんが〇〇【IF の母校名】小学校。

IF：そうそう。

IE：〇〇、〇〇【IF の出身集落】の、あ、昔は〇〇【集落名 A】だな。

【補足説明：IE・IF 夫妻と白岩】

IE・IF 夫妻と調査者の白岩は、同じく伊達市保原町の出身。同郷ということで快く調査に応じていただいた。たいへんありがたいことである。ここからしばらく、保原町に関する話題が続く。

なお、細かな地名は、個人的な情報にあたるので念のため消去したが、半径 2～3km くらいにおさまる範囲の地名が連続して登場する。

談話 5

白：あー。

IF：学校、私〇〇【IFの母校名】小学校。

白：〇〇【IFの母校名】小。全部隣同士ですね。{笑}

【IE、IF、白岩の3人の出身小学校の学区は隣どうしである】

IF：そうなのね。****みたら。

IE：そうですよ。（白：うん）こ、このくらいんところに**…

IF：知らない同士だったんだけど、そんなとこよ。

白：んー。（IE：{笑}）全然、その、保原いたころは一緒に…

IF：知りません。

白：全然知んない***

IF：村が違うからね。

白：村が違うがら。

IF：うん。

IE：ま、村が違ったら（白：んー）〇〇【IEの出身集落】も（白：んー）〇〇
【白岩の出身集落】も全然わからない。

白：わがんない。あーあーあーあー。

IE：〇〇【白岩の出身集落】の学校は、山の高いどご***ね。

白：ええ、山の高いどご。俺、通いましたよ、あそこ。{笑}

IF：ふーん。

IE：あそこは、ま、〇〇【集落名B】もあそこに行ってるね。

白：そうそう。〇〇【集落名B】と…

IE：〇〇【白岩の出身集落】。全部一緒…

白：〇〇【IEの母校名】よりも、〇〇【白岩の母校名】のほうがでっかいんじゃないがと思うんですけどね。

IE：確か、大きいしょ。

白：おっきい、うん、あそこは。

IE：〇〇【IEの出身集落】は、あの一、えーと、3つに分かれてるよね。

白：うん。

IE：んー、〇〇【集落名C】と…

白：ええ。

IE：あと、

白：〇〇【集落名 D の言いさし】…

IE：〇〇、〇〇【集落名 E】かな。

白：うん。

IE：あと、えーと、あそこはどこだったかな。

IF：もう忘れたね。****。

白：忘れちゃ…、うんうん。

IE：*****。あの辺は、あ、〇、〇【集落名 D の言いさし】、なんてったっけな…

白：〇〇【集落名 D の言いさし】…

IE：〇、あー、〇〇【集落名 D】とか何とか、〇〇【集落名 D】だ、確かね、（白：うん、そうそうそう）そんな、あの一、部落が***。

白：で、あわさって〇〇【IE の出身集落】だもんね。

IE：そうです、そうです。

白：で、高校まではずっと保原。

IE：高校行ってないよ。{笑}

白：あー、行ってない。{笑}

IE：新制中学。（白：あー）あのころは、あの一、新制中学…に、な、変わったころ。

IF：移ったところでめちゃくちゃだ。

IE：変わったころね。で、義務じゃなかったね、あのへんは。（白：あーあーあー）新制中学 3 年っていうのは義務じゃない。で…

白：あーあー。

IF：そして、そ…

白：ほば、保原の？

IE：いや、保原【保原町中心部】には行ってないわ。〇〇【IE の出身集落】で終わってる。

白：あ、〇〇【IE の出身集落】、あーあーあーあー。

IE：小さな、が、学校でね。（白：ええ、ええ）あのころは小さくなかった**ね。800 人くらい生徒、（白：800 人）全校で。全校生徒が 800 人くらいおった。（白：は一ん）小さいほうじゃないよね。まあ、^{はっぴゃぐ}8 0 0 人、今だったら、それはもう…、まあ、全体で^{はっぴゃぐ}8 0 0 人くらい…

談話 5

白：うん、そんなもんですよ。

IE：そんなもんでしょ。（白：うんうん）まあ、あのころは子どもが多かったからね。

白：うんうん。だからブラジル来たんだもんね。

IF：{笑}

IE：{笑} ああ、そういうごどだ。

白：あー。

IF：【ブラジルへの移住は】次男、三男対策だもんね。

白：うん。

IE：うん。

白：じゃ、その、学校出たら家の、その、畑仕事やってたんですか。

IE：もう、ず、ずっとおじさんのところでやっとなね。

白：ふーん。それも〇〇【IEの出身集落】。

IE：うん。

■ 移住を決めてから船に乗るまで（5:35～）

白：ふーん。で、その、ブラジルに、その、来たどぎの、その移住の話ってのはどごで知ったわけですか。

IE：あれはね、えーと、新聞に出たね。

白：あー。

IE：新聞にその移住。それと、あの一、各農業共同組合ね、（白：えーえーえー）組合に、だいたい希望、（白：あーあー）それが入ってきてるんだね。（白：はー）んで、そのどぎに（白：ええ）まあ、あの、ブラジルから、あの一、あれ、あの、ブラジルの組合長ね、（白：うん）それが日本に来て宣伝したわけだ。（白：うん）Cotia《コチア》せ、Cotia《コチア》組合【日系人の農業組合】のね。（白：うん）それで、えーと、日本にその宣伝に行く途中にハワイに寄ったの、その^{しと}人。（白：あー）うん。そこでハワイにおじさんがいた。

【補足説明：コチア移民】10 ページを参照。

白：あー、ハワイにも、い…

IE：おじさんが、（白：うん）お、うん、おった***ね。で、そのおじさんは、え、いろいろ聞いたら、おお、「けっこういいところ*な」と、ブラジルっ

ていうのは。(白：うん) それで、まあ、おじさんが「よし、ブラジルに行くんだったら大丈夫だろう」と、(白：あーあー) まあ、そういう〇〇【人名 A】 * いう人 * ね、その、Gotia 《コチア》 組合の…

白：組合の人が…

IE：あの一、専務理事。

白：専務理事。うん。

IE：で、その人が、まあ、募集したわけ。***

*(白：えーえー)

んで、その途中にハワイに寄って(白：ええ) そこで講演するわけ。(白：は一) 日系人と。****

白：そのころはもうハワイもね…【ハワイにも日系人が多い】

IE：うん、そう**。ま、それで、これはいいんじゃないかと、(白：あー) いう話がちょっと***。

白：**、は、反対されたりしなかったですか。

IE：はい？

白：反対しなかったですか、あの一。

IE：は、反対しないよ。うちの、その、familia 《家族》、(白：ええ) それはもうほとんど海外に出てる familia 《家族》だから。

白：あ、そうなんですか。

IE：そうですよ。

白：ふーん、じゃ、ハワイ。

IE：ん、わ、あの、ハワイで(白：うん) だいたい、あの一、働いて、(白：うん) そして、いちおう、内地に帰ってきて、(白：あー) それで、そういう経験者だから、(白：ええ、ええ、ええ、ええ、あー) **、**、海外に、で、出るっていうのは、それほど抵抗はないよね。(白：ふーん) あー、まあ、結局、親だちは 1 カ所に、お、お、おらんかったみたいだな。あちこちに(白：あー) んー、歩いて《回って》いてね。

白：んー、じゃあ、もうそういう familia 《家族》だったわけです*。

IE：そうよ。(白：うーん) おー、北海道あたりまで吹っ飛んでいくくらい* 親だちだからね。

【補足説明：ハワイ移民】

ハワイ移民の歴史はブラジルより古く、数多くの日本人が移住したが、移民排斥の流れが強まり、1924 年の「排日移民法」で移住が制限される。その結果、ブラジルなどの南米に移住する日本人が多くなった。今もハワイには多くの日系人が暮らしている。

談話 5

白：{笑}でも、その、ブラジルっていったら、もう永住のつもりだったわけで

*。戦後だから。【戦後の移住者はほとんどが永住目的での移住である】

IE：あ、もちろん、そうですよ。

白：うん。

IE：もう、ブラジルじゃ、行
ったら、い、もう帰らん
つもりで**からね。

白：あーあーあー。{間}で、
そ…

【補足説明：永住目的の戦後移民】

ブラジルへの移住者は戦時中の中断期をはさんで「戦前移民」と「戦後移民」に分けられる。戦前移民の多くはブラジルで稼いだあと日本に帰国するつもりだったが、第二次大戦などの影響で、ブラジルに永住することになった。一方、戦後移民は最初から永住目的で移住した人が多い。

■ 日本に行ったときの話／家族の話（8:50～）

IE：ま、それでも、あれ、何年かな。んー、きゅ、90年かな。（白：んー）日本に帰ったのは、確か90年ごろだったな。

IF：あ、初めて行ったの？

IE：うん。

白：あー。

IE：確かそのころよ。（白：あーあー）うん、それまではずっと…

白：ずっとこっち。

IE：うーん、こっちに来てたった1回、日本に行っただけだ。

白：いつですか、それは。

IE：んー、あ…

IF：90年？

白：あ、その90年？

IE：あどは行ってない。

白：90年に1回、1回行っただけ？

IE：1回行った。（白：あー）浦島太郎だよ。

白：あれ、〇〇【IFの名前】さんは、あ、そっか。息子さんの…

IF：う…うん。息子のとごへ何回…、5年に1回ずつ行ってた。

白：ふーん、あ、じゃあ、一緒に行ったのはその1回だけって。

IF：うん。その1回だけ。

白：そ、それがその1回だったんですね、90年の。

IF : ええ。親戚めぐりやら何^{なに}やらで。(白 : {笑}) (IE : いや) 私は、うちの人、
行く前に私の母がもうずっと命危ないっていうんで「帰ってこい」言われ
て、私、か、勝手^つにとって、しと、一人で行ったのが、だいぶ、は、82 年。

白 : 8^{はじじゅうに} 2 年、8^{はじじゅうに} 2 年、俺、生まれた年ですよ。

IF : ん？

白 : {笑} さんじゅ…【「30 年前」の言いさし】

IE : * * * * 年ね。

IF : 82 年に初めて行ったのよ、私一人で。(白 : は一) まだ、あの、女の子なん
か 12 歳くらいだったかな。(白 : あ一) 確かそんなもんだね。

白 : あ一、あ…、娘さん？

IF : うん、あの娘が。

白 : あ、娘さん、な…

IF : あれ、末っ子。

白 : 末っ子ですか。

IF : え一、68 年生まれ。

白 : 68 年。ふ一ん。

IF : 68 年…、あれ？ そしたら、だいぶ年いったようなの？ でも、はち、
あ一、私、81 年に初めて行ったのにな。

白 : 68 * * * 十何歳でしょう。

IE : * * *

IF : そうだね。

白 : うん、そうそうそう。

IE : ○○【IF の名前】は…

IF : そうだ、13 歳。

白 : 13 だがら * * * *

IF : あ、そうよ。(IE : お一) そんなだったよ。それを置いて、子どもたちみんな
置いて行ったのが初めてで、私、ねえ、(白 : うん) 2 カ月だけ行ってきた。

白 : 2 カ月だけ。

IF : そしたら、親は死なん…、死ななかった。(白 : {笑}) (IE : {笑}) やられたー
【「親にまんまとやられた」という意味】{笑}。

談話 5

IE：もう娘が帰ってきたから安心して。

白：ふーん

IF：長生きしたね、あれから。

白：そしたら、よがったじゃないですか。

IF：うん。あれから3年生きたの。(白：ふーん) だから、親の死に目には会ってない。

IE：し、心臓…

白：でも、元気なときにね、会えんのが。【「元気なときに会えるのがいい」という意味】

IF：そうなのね。まあ、喜んだね、親は。

IE：***、ブラジル**、あのころはね、「ブラジルから帰る」^ゆ言ったら、それこそ大変な時期だったよね。(白：あー) そのずっと後だもんね、あの一、(白：うんうんうん) なんていうの、ブラジルから働きに行った…

白：うんうん。

IF：それはもうね。

IE：それはずっと後よ。

IF：8^{はちじゅうご}5 ~ 6年あたりから、ゆ、あの、は、出稼ぎが増え始めたね。(白：うんうんうん) ま、そういうことだったね。

白：その8^{はじじゅうに}2年のときはavião《飛行機》で行ったんですか。

IF：そうですよ。

【補足説明：日系人の出稼ぎ】

日本の景気がよかった80年代後半から90年代前半にかけてブラジルから日本に出稼ぎに行く日系人が急増した。

白：ふーん。

IE：うん、もう…、**

IF：あれは…、ん、んー^{ジャル}JALだったかな。

白：ふーん、**

IE：もう、あのころは、もう…

IF：もう来てた？

IE：うん、いや。

IF：**アラスカだったよ。

白：アラスカ？

IF：うん。

【補足説明：ブラジルへの飛行機】

以前、ブラジルへはJAL（日本航空）の直行便が飛んでいたが、給油のため、アラスカのアンカレジ、ニューヨークを経由していた。その後、ニューヨークのみの経由になったが、2010年のJALの経営破たんにともない、路線が廃止された。

現在、日本からブラジルへ行くには、アメリカ、中東、ヨーロッパなどで飛行機を乗り継ぐ必要がある。

白：あー、その時代ですね。【JAL の飛行機がアラスカ経由でサンパウロまで飛んでた時代があった】

IF：アンカレジ。【アラスカの空港名】

白：アンカレジ。ふーん。

IE：ちょ、直行、直行…【乗り継ぎなしで直行便だった】

IF：うん。あそこで給油して、給油して行ったわけ。（白：うんうんうん）同じ便で行けたからね。

白：ふーん。

IE：ま、今の時代から見たらね、（白：うん）あのころは、うーん、日本に帰る…、行くって言^ゆったら大変な、（白：うんうんうん）そういう時期だったね。
（白：うん）今は、もうそうじゃないけれど。

IF：***に行くみたいな感じで。

白：ええ。すぐ行きますよね、みんな。

IF：うん。

白：もう「行ってくるよ」なんて言わないで、もう、さっさと行っちゃ…

IF：さっさと行って、（白：うん）さよならもないよ。（白：うん）（IE：{笑}）珍しくない*ね。

白：うん。

IE：もさもさしてると「いつまでおるか」なんて言われ…

白：{笑}

IF：ほら、うちの長男は「いっぺんも行ったことないのは俺だけだ」なんて、*、言^ゆってるよね。{笑}

白：あー、あー、あー、あー、そうか。行ってないですね。

IF：次男がもうあっち【日本】に住み着いちゃって、（白：うん、うん）ほいで、あの、女の子【娘】は、あの一、〇〇【ブラジルの大学名】に入って 2 年生のときに先生方が半年ぐらい、あの、ストライキ（白：ええ）したので嫌気差して、休学して日本に働いたのね、2 年ぐらい。

白：【娘さんは】5 年って言っていました**

IF：5 年。あー、何回も行ったから。うん。（白：あー、あー）最初 2 年行って。

IE：まあ、それもね、いやー、そのころの時代だよな。

【補足説明：日本に住む家族】

ブラジル日系社会では、家族の誰かが日本で暮らしているということは珍しいことではない。一時的なデカセギで日本に働きに行く場合もあれば、日本に定住する場合もある。

談話 5

白：ええ。

IE：もう、そういう時代にみんなもう****

IF：*****行ったね。んー。

白：うん。もう簡単に行ける時代。

IF：そうそうそう。

白：で、稼いで帰ってくれば。

IF：まあ、稼いだ金**、みんな使って帰ってきて。{笑}

白：日本で？ {笑}

IF：もうあの娘なんかそうだよ。{笑}

白：あ、そう。そんなにお金使うふうに見えながったけど。

IF：うーん。まあ、旅行したり（白：あー）何かしたりしてね。で、まあ、あの家は自分で買いとったわけよ。（白：ふーん）うん。

白：あ、しっかりしてるんじゃないすか。

IF：まあ、しっかりするとこはしっかりしてるんだらうけど。

IE：ま、日本にも、日本に行って、（白：うん）いちばん最初は、あの、{咳}ワープロね、（白：ええ）あれの通信教育で（白：ええ）その、diploma《免許》を取ってるね。（白：あー）で、そのあとは、今度、んー、やはり、ほらキャデーだから。

白：ええ、ええ。

IF：ゴルフ場で働いてたのね。

白：はー。

IE：うん、うん。その一、午前中、まあだいたい、よ、3時ころまでに終わるってね、（白：ええ、ええ、ええ）そうすると、あと、時間があるわね。（白：うん）それを利用して（白：うん）通信教育をやる。（白：ふーん）で、うーん、いちばん最初は、その、ワープロのほうの通信教育の（白：うん）diploma《免許》をいちおう取って、（白：ええ）そして、そのあとは今度、あの、ペン習字、（白：あーあーあーあー）あれの通信教育をやって、（白：ええ）これもdiploma《免許》取って。（白：はー）まあ、aproveita《活用》… {笑} 利用する。

IF：利用して、（白：ええ）い…、あと、日本語も勉強して、かな。（白：うん）で、帰ってきてからも日本語の先生をししたりした。（白：ええ、ええ）して

たのね。

白：ええ、ええ。いろいろね、勉強…されてますよね。

IF：うん、細切れみたいにやっていたみたいね。

IE：{笑}

■ 移住地の発展について (15:05)

白：じゃ、そのときは、えっと、電話とか手紙とかというのはよく…

IF：手紙だね、(白：手紙) あのところ、ほとんど。

白：電話、高かった。

IF：高かったのかな。

IE：で、高いっていうより、ここになかった。

白：え。

IF：あった、あそこ…

IE：電話。

IF：nǎo 《いや》、90 年ごろは。

IE：あ、90 年は。うん。

IF：80 何年のころは、い、私が初めて行ったころは電話も、ま、まだなかった

* *

IE：ない。ね。

白：8^{はじじゅう}0 年で【電話が】なかった？

IF：なかった。

IE：うん。

白：ふーん。

IE：で、んーとね、88 年に電話、これ、あの、んー、あそこは有線電話ね。

白：有線電…

IE：うん、そんどきに、こ、この部落に、(白：ええ) その前は入っておったげ
んともね、(白：ええ) rural 《農村》っていうね、(白：うん) telefone rural
《農村電話》っていう。(白：うんうん) うん、農村電話って…

白：農村電…、ど、どういう、違うんですか。

IF：どういうの？

IE：ん？

談話 5

IF：私、知らない。

IE：農村電話っていうのは、あの一、農村電化という、そういう電化組合が、あ、（白：ええ）Piedade《地名：ピエダージ》にあった。（白：うん）んで、それは電話も一緒に、あ、* *、あ、（白：ええ）引いでおったわけね。（白：うんうん）それは第 1 回目の電話ね。（白：あーん）それはあまりにも高すぎて…

IF：うちは^い入れない。* * * * *

IE：い、^い入れな^いが^いった * *

白：うん。

IF：近所^いで^い入れた人はいたわけだ。

IE：うん。

白：うん。

IE：で、そのずっと後になってがらね、88 年かな。

IF：そんなに遅かったかな。

IE：うん。（白：んー）そのころは、自分らが、あ、やったときはね、そうだったんだよ。それはあ、こんな、自分らで（白：うん）あんどきはね、37 台かな、電話のね。（白：あー）申し込みは 50 台くらいあったんだけど、（白：ええ）んー、ひとり抜け、ふたり抜けして^じるうち、ごっそり抜けて、結局、最後には 37 台の電話。（白：うん）それを、まあ、あ、引くようにして、（白：うん）そのときは結局、んー、自分が…

IF：今、電話の^{はなし}話^{はなし}してるんじゃないでしょう。[笑]

白：いやいやいや、電話の話でも。

IE：…じゃないけれども、あ、組合のほうで（白：うん）必要でね、（白：うん）そちらのほうから^{はなし}話^{はなし}して（白：うん）、それを、あ、coloca《設置》す…

白：それが^{はじじゅうはじ}8^{はじ}8 年？

IE：そうです。（白：んー）で、それが今、今、入ってる電話ですよ。（白：うんうん）全体に入ってるわね。

白：ん、電気はいつ来たんですか。

IF：ここに来て 10 年^ご後^ごぐらい？

IE：そしたら、何年？

IF : 64 年に来たんだから、^{しちじゅうよ}74 年ごろ入ったの。(白 : うんうんうん) それ * *、…までの 10 年間はランプだった。

白 : ふーん。じゃあ、その長男さんとかは、もう…

IF : Suzano 《地名 : スザノ》で生まれてきたから。

白 : あ、そうか。

IF : ええ。

IE : それは向こうに電話…、電気があったよね。

白 : あー、ん、Suzano 《スザノ》はあった？

IF : Suzano 《スザノ》はもう来たときから電話が、あの一、電気があったしね。

IE : 電気はね。

■ 最初の移住地について／第二次大戦前後の話 (18:00～)

白 : うん。え、〇〇【IE の名前】さんは、最初…、来て最初に働いたのは Suzano 《スザノ》じゃ…、え、え…

IE : いや…

IF : São José 《地名 : サンジョゼ・ドス・カンポス (以下「サンジョゼ」)》。

白 : São José 《サンジョゼ》か。

IE : São José 《サンジョゼ》、São José 《サンジョゼ》。

白 : あー、そうだ、そう。うんうん、思い出した、思い出した。

IE : これは、あの一、【スザノでの仕事は】あとの勤めよ。{笑}

白 : で、その patrão 《雇い主》が…

IE : うん、福島の人 * * * *

白 : 福島ね、あー。

IE : あの一、原町【現在の南相馬市原町区】。

白 : 原町。

IE : うん。

白 : ふーん。だけど、そ、そ

の、負け組【第二次大戦後に日本の敗北を認めた人（日本の敗北を信じない「勝ち組」との間で抗争があった）】で。

IF : わかってたんでしょ？ その事情を。{笑}

【補足説明 : 「勝ち組」と「負け組」】

第二次大戦のあと、日本の情勢が十分に伝わらないブラジル日系社会では大きな混乱があった。日本の敗戦を認める「負け組」と、敗戦のニュースをデマだと考え、日本は勝ったと信じる「勝ち組」に分かれ、「勝ち組」の日系人が「負け組」の日系人を殺害する事件も起こった。

IE: あ、あれは、あれはもう負け組でね。(白: うん)(IF: うん) その、なぜかって言ったら、海軍の兵隊さんだったんだよ。(白: うんうんうん) で、昔は、あの、海軍の兵隊さんっていうのは、(白: うん) 国々を遠征して歩いたよね。(白: ええ、ええ、ええ) それでわかつとったんだと。(白: あーあーあー) あ、あ、日本の兵隊は、海軍はそんな強いもんじゃないってことをね。

白: あーあー、勝つはずがないって…

IE: んー、あ、もう、絶対これは勝たないと。んー、ところが、それを下手にそんなこと言うたらね、(白: ええ) それこそ勝ち組【第二次大戦で日本の敗北を信じようとしなかった人】のほうから狙われるんで、まー、狙われて、(白: ええ) どうしようもならんくなって、Santo Amaro《地名: サント・アマーロ(サンパウロ市内)》に、あの、逃げてきたっていうね。(白: あー) そういう patrão《雇い主》だったんだよ。

白: あー。

IF: 【果物を出して】ん、これ。

白: あー、どうもすみません。

IE: ま、芋^{つく}作りでね、(白: ふーん) それこそ博^{ばぐち}打ちの大好きな人でね、(白: ええ、ええ) 芋を、芋を ganha《入手》した芋を caminhão《トラック》で、^{にさん}に、2〜3台持って、売って、(白: ええ) それが一晩ですぽんと金なくしてくる。(白: {笑}) そういう patrão《雇い主》だったよ。

白: はあ。でも、ま、その、情報は明かったわけですね。

IE: あ、あー、それはね、(白: うん) やはり情報っていうのは、もう、あの、ここの、あの、政治家の中にも(白: うん) あの、そういう、なんていうの? いろいろな(白: うん) あの、política《政治》の(白: うん) あの、情報っていうのはね、(白: うん) けっこう上^{じょうず}手にやとったね。(白: ふーん) だから、あの、Central《セントラル》線【サンパウロからリオデジャネイロに抜ける地域】っていうのは、米^{つく}作りが(白: うんうん) だいたい、あの一、中心なんですよね。(白: うんうんうん) そうすると、(白: うん) この político《政治》、(白: うん) その関係でね、あの、政府から、あの、もみ^{だね}種、(白: うん、うんうん、うん) 種ね、そういうものをなんびやっぴょう^{なんびやっぴょう}何百俵^{だね}って、もう無償でもらってくる。(白: うーん) そういうのは

政治の力が必要な * * だね。

白：必要 * *

IE：あー、やはりね。(白：んー) だから、あの、patrão《雇い主》はいつも言
 ってたね。(白：うん) * *、「この仕事でね、(白：ええ、ええ、うん) 政
 治、それにいちおう関係してなかったら、ブラジルの百姓できないぞ」と、
 (白：あーあーあー) いつも言^ゆっておったね。

白：いつも言^ずってた。

IE：うん。ここ【ピラール】も同じよ。

白：今でもそうでしょう。

IE：このPilar《地名：ピラール》もそうよ。(白：うん) もう、*、あー、político
 《政治》関係ないなんて言^ゆったら何もできないよ。

白：うん。*

IF：あの、お父さんの話だけでいいよね。ちょっとシャワ、シャワー浴びて *
 * * *

白：シャワー、どうぞどうぞどうぞ。はい。

IF：ね、もう汗かいちゃったから。

白：あ、* *、ごめんなさい、ごめんなさい。

IE：さて、どこまでいったかな。

白：えーと、移住の話ですね。

IE：うん。あ、そうか。

白：* *、* * * *、* * * * ね。初めに住んだのは、じゃあ São José《サン・
 ジョゼ》ですね。

IE：そうです。

■ 渡航した船の話／ポルトガル語学習の話 (21:00～)

白：うん、船の中^{なか}で何してました？

IE：船の中で。(白：うん) 寝てたよ。{笑}

白：{笑} 起きてつとぎ何してたがよ。

IE：何もしないで、もう食^くっちゃ寝^ね、食^くっちゃ寝^ねよね。(白：うーん) ^{よんじゅうご}_{4 5}
 日間の船の生活だからね。

白：んー、例えば Português《ポルトガル語》の勉強とか。

談話 5

IE : Português 《ポルトガル語》の勉強なんて頭に入るもんかね、もう。{笑}

白 : {笑}

IF : 船酔いで？

【この発話を最後に IF がシャワーを浴びに行く】

IE : {笑} やったよ。

白 : やったんですか。

IE : うん。Português 《ポルトガル語》の、ポルトガル語のね、(白 : うん) 勉強も、あ、やってはいたけれどね、教える先生がいいかげんな先生なんだ。

(白 : あーあーあー) あー、いや、ポルトガル…、Português 《ポルトガル語》、よくわからんような先生がね、(白 : ええ、ええ) けっこう先生として教えてるでしょう。(白 : あーあー) そして、習うほうも習うほうよね。

(白 : {笑}) ほんで、それで今度、こっちに配耕【耕地を配分されること】された。(白 : ええ、ええ) で、配耕されたとき、何年、んー、たしか3年くらいはね、(白 : んー) やはり農繁期【農閑期の言い間違いか】、そういうときを利用して、(白 : ええ) あの、ブラジルの学校に通ったよ。(白 : あー) 夜学。それは夜学よ。

白 : 夜学。

IE : うん。

白 : みんな夜学行ってますね。

IE : うん、そうですよ。夜学には、あの、自分らも通ったです。(白 : かよ…) 街の中に住んでるんだから、(白 : あーあー) 歩いて、ちょこ、ちょこちょこって、(白 : うんうん) **、もう学校やからね。(白 : うんうんうん、ふーん) そういうところでブラジルじ、…人^{じん}も、あの、夜学しておったね。(白 : あ、そう) うん、それはほとんど《ほとんど》、あの、数学、matemática …

白 : matemática 《数学》

IE : うん。ブラジル人の、あの、夜学は matemática 《数学》。

白 : うん。日本人は Português 《ポルトガル語》。

IE : ん、わ、あー、我々は、Portu, Português 《ポルトガル語》の (白 : うん) 2年生程度だね。(白 : あーん、***) うん、2年生程度でもう、まあそれでもね、(白 : うん) ま、単語覚える…ね。

白：けんかもできる。

IE：うん。で、単語はね、（白：うん）自分ら、あの、カードつくって、（白：ええ、あー）毎日、あの一、10、dez《10》くらいの（白：ええ、ええ）palavra《単語》をね、全部書いたカードに持って、（白：ええ、ええ、ええ）それ何枚も持ってて、（白：うん）それを復習しながら、（白：うん）それで、あの一、覚えていったよね。

白：その、そのときは教科書とかそういったものはちゃんと準備はされでだ？辞書。

IE：あ、教科書は、あの一、Nipo-Brasi, Brasil, Brasileiro《日本とブラジルの》っていうかね、（白：あー）あの一、お一、あれは中学程度の（白：うん）教科書だったらしい。（白：あー）あの一、ブラジルのね。（白：ええ、ええ）んで、それを、あの一、ん一、grupo《集まり》に通ってる子どもたち、ここの、あの、学校に通ってるね、（白：ええ、ええ）あの、日系の人たちに見せたら、難しすぎてわからん。（白：わからん、うん）それを自分らは、その、やってたわけ。（白：あーあー）ブラジル、あの一、（白：ええ）それは、その、palavra《単語》ね、（白：うん）その内容っていうのは、ここの中学（白：* * * *）ginasial《中学》程度の、（白：ん一）その、内容だったらしい。（白：うんうんうん）だから、あの、grupo《集まり》に通ってる子どもたちは、（白：ええ）わからんわけだ。

白：あーあーあー。

IE：これはブラジル語【ブラジルのポルトガル語】じゃないって、わからんっていうわけ*、（白：うんうんうん）聞いてもね。（白：ええ、ええ、ええ）それはわかるはずないよね。（白：うんうん）ん、g、grupo《集まり》で習ってる生徒が、あの一、中学程度のそういう palavra《単語》だからね。（白：うーん）それは自分ら、やとったね。うん。

白：は一ん。

【補足説明：ブラジル語】41 ページ参照

■ 最初の移住地について／仕事の話（24:40～）

IE：もう暇、暇あるし、で…、ところがね、（白：ええ）その暇っていうのは、毎日、毎日、それこそ日本で考えるような仕事じゃないんだよ。（白：ええ）ブラジルの仕事っていうのは。（白：うんうん）それは、あの、芋 1 俵ね、

談話 5

(白：ええ) ええ、^{ろくじゅつ}6 0 キロくらいならまだいいんだよ。

白：まだいいほう？

IE：まだいいほうよ。^{ななじゅつ}7 0 キロくらいの、あの、重さがあるやつをね、(白：あーあー) ふたりに頭をポンと上げる。

白：頭に？

IE：そう。こうやってね。(白：ええ) あの、向こうの^{はじ}端とこっちの^{はじ}端を持って、(白：ええ、ええ) ふいっと上げて、そこに頭すっと入れる、(白：うんうん) そうやって担ぐわけ*。(白：はー) それをかずいて《頭に載せて(西日本方言)》、今度は、あの、なんていうの、んー、「***」【カレッタと聞こえるが不明】ってここは言うんだけどね、(白：ええ、ええ) あのー、あ、運搬車、(白：うん) そのなか、上にポンとそれを、あ、あの、下ろすわけ。(白：うん) それが 30 キロくらい、だいたい、1 台の***に、その運搬車にね。

白：じゃあ、載せるまでは、自分で^{あだま}頭で担いで？

IE：あ、それはふたり、3 人くらいだね。

白：3 人…

IE：ふたり、ひょいと【荷物を】上げたのが、中にぽっとひとり入って、(白：あー) 頭に上げて、**、(白：おー) 持ってく***。まあ、だいたい^{ろくじゅつ}6 0 キロってというのは珍しいね。^{ななじゅつ}7 0 キロくらいは普通に入ってる。

白：はー、ふーん、その入ってだのは batata 《じゃがいも》で**

IE：batata 《じゃがいも》。

白：batata 《じゃがいも》。ふーん。

IE：芋よね。(白：うん) 米はもっと重い。

白：あ、そう。

IE：米は、あの、機械で(白：ええ) うん、刈ったやつをね、(白：うん) 今度、1 俵いくらで、(白：ええ) あの、袋にそれ、***、(白：あーあー) 刈るわけだ。(白：うん) そうすると、あの、café 《コーヒー》の袋っていうのは、ものすごく大きいんですよ。(白：あー) café 《コーヒー》の袋に、(白：café 《コーヒー》の袋、んー) それいっぱい入れたら、そうね、^{ななじゅつ}7 0 キロ、^{はちじゅつ}8 0 キロまで入る。

白：はー。〇〇【IE の出身集落 (日本)】ではそういう重いのは^{かず}担がなかった

ですか。

IE: あ、それはもう絶対そんな（白: {笑}）もう、**、日本から来た人たちはね、（白: うん）もう最初からそういうふうに、みんな、あの、そういう経験を積んでるよね。（白: ふーん）Cotia《コチア》青年【独身での移住者】というのは、もうそういう無理したものを、^{しごと}仕事をやってきてるからね、（白: あー）大変な（白: あーん）ろうど、労働ですよ。（白: あーん）そういうごども、いちおうは経験しておるよね。（白: あーあー）そして、今度、自分らが日本から来て、すぐ何をやったかいうたらね、（白: ええ）^{しょうどぐ}消毒ですよ、（白: あーあー）機械^{しごと}しょって。（白: うん、うんうん）そして、まあ、こっちに來たら「消毒したことあるか」っていうから、いや、「それは日本の消毒は大したこどないげんとも、（白: うん）^{しょうどぐ}消毒は^{しょうどぐ}消毒で消毒した…、してる経験はある」と。（白: うんうん）そしたら、いや、「今度はこっちでやってくれよ」と。**、いや、毎日。（白: あー）背中にしょってね、（白: ええ、ええ）えー、二十何キロの、あの、薬をしょって、（白: ええ）この、手でもむわけ。（白: うんうんうん）それが1^{いんちんち}日^{ふつか}や2日じゃないんだよ。（白: あーあー）あー、もう何カ月も。米の、せ…、あの、芋の成育してる期間中は、（白: ええ、ええ、ええ）うん、その消毒っていうのは。（白: はーん）それは日本では考えもつかないよ、（白: あー）そういう^{しごと}仕事っていうのはね。

白: そ**仕事だと思って来た…、思って来ない、思っては来ないわけですよ*。

IE: いや、かなりの重労働だろうとは思っては来てるけれども、（白: うん）そういう徹底した、その、^{しごと}仕事の内容っていうのは、んー、日本じゃ考えてないよね。（白: あー）そんな^{しごと}仕事はないよ。（白: うん）そ、「それはなにか^ゆ言ったら、えーと、ここへ来たらね、芋、作るその^{しと}人、その面積がね、（白: ええ）だいたい、えーと、30 から ^{よんじゅう}40⁰ヘクタールです。

白: あー。

IE: 面積が全然違う。

白: 全然違いますね。

IE: 違うですよ。

白: そんな畑、保原にはないでしょ。

IE: ああ、ないない。ブラ、ブラジルでもね、(白: ええ) あの一、芋^{つく}作りで
そういうのは、ん、まあ自分の入ったところはね、あの、平らなところで
ね、(白: あーあーあー) 機械は入らない。

白: えー、もう全部人間で?

IE: うん、全部人間で。だいたいね、^{しち}7人から 10 人くらいのひとつの (白:
うん) しご、仕事の (白: うんうんうん) grupo 《集団》よね。うん、それ
でみんなやってくる。大変ですよ。

白: 逃げだ人いながったですか。

IE: ああ、逃げない。(白: 逃げ*) 自分らんとところで、や、やってた人たちは
ね、自分らは最初ふたり配耕されたね。(白: うん) そして 1 年後に (白:
うん) 10 人入ってきたよ。

白: 入ってきた。

IE: うん。自分らの patrão 《雇い主》のところに。(白: うんうん) 10 人ね。(白:
うんうん) それが今、第 5、5 期生で、(白: あー) ○○【人名 (ピラール
の人)】さんらと同じ grupo 《集団》で入ってきた人が 10 人 (白: うんうん)
入っておったんです。(白: ふーん) だから 12 人ね。(白: うんうん) うん。
まあ、それに今度は、あの、現地の camarada 《小作人》ね。

白: あー、現地の camarada 《小作人》。

IE: 労働者、一緒に働くわけ、(白: うん、うんうん) * * * *。いやー、それ
がね、(白: うん) あの、機械いっぱい薬を入れるわけだ。(白: ええ) そ
うすると、ここの、あの、労働者はね、(白: うん) 向こうに着いたときには
その薬がからっぽなってるんだよ。(白: あーあー) 不思議だなんて、
自分らいくらやっても (白: うん) 3 分の 1 は残るんだよ。(白: ええ) お
かしいなと思ってね、(白: うん) それから、どんなしてこれ、あの、同じ
く歩いて、同じくやってるのに、(白: {笑}) 薬が自分らは残る * * *。(白:
ええ) そうしたら、(白: ええ) 薬の pico 《先っちょ》があるね、(白: あ
ー、はい) あの、あー、くず、薬が出る。

白: 出る…、出るとごね。あ、はい。

IE: それをこうやって、あの、(白: うん) 穴を大きくして、(白: ええ) いっ
ぺんにぱっと出るようにして。{笑}

白: それで、{笑} * *、ごまかす、で。【現地の小作人は薬の出る穴を大きく

してたくさん薬を使い、たくさん仕事をしたようにごまかした】

IE: いや、あれはね、考えてもみなかったよ。(白: あー) どうしてこんなに、あの、早く薬がなくなるん…かなと思ったら、(白: うんうん) そういうやり方をこの人たちはやとったん*。(白: あー) 自分らは、日本でやる場合、霧がぱーっとかぶったら【霧状の薬が畑にかぶったら】、(白: うん) あの、広がったらいいっていうふうに思とったから、(白: うん) だから、そういうふうにしてやってたら、そうじゃないんだ。

白: 早く減る、早く減る。

IE: 彼ら、じょうろみたいに(白: {笑}) ジョジョジョ***かけてくんだ。{笑}
(白: あー) ま、そういう百姓だったんだよね。(白: あー) 今は違うげんとね。

白: んー、それは、その、São José 《サン・ジョゼ》の話ですか。そ…

IE: São José 《サン・ジョゼ》、**。

白: São José 《サン・ジョゼ》。うーん。

IE: あの、empregado 《使用人》、(白: あー) camarada 《小作人》に入ったときね、(白: あーん) 日本から来て、(白: うん) 直接の移民。まあ、だいたい、移民なんていうのはそういうもんすよ、どこ行ってもね。

■ 最初の移住地から移動した話／結婚の話 (31:40～)

白: うんうんうんうん。で、その São José 《サン・ジョゼ》の次はどご行ったんでしたっけ。

IE: んー、Suzano 《地名: スザノ》。

白: あ、そのあと Suzano 《スザノ》か。

IE: そう。これは、あの一、借地。

白: あー、借地。

IE: うん。(白: うん) 土地を借りてね。

白: うん。で、その Suzano 《スザノ》入ったのが何年でした?

IE: あそこはね、えっと、スザノは、ろく…。

IF: 【シャワーから戻り】ごじゅう、^{ごじゅうきゅう}59 年じゃない? あー、58 年?

【IF はそのまま寝室に行く】

IE: 58 年だ。

白：58 年。

IE：うん。（白：あー）そんどきに家内も、い、日本から来てる。

白：あー、じゃあ、結婚するのを、そのきっかけにして。

IE：そうそう、そうそう。だからそういうね、（白：うん）これは、あの、Cotia
《コチア》青年っていうのは、（白：うん）ほとんど^とそういう経験してるん
すよね。（白：ふーん）もう自分たちが特例じゃないんだよ。

白：ええ、ええ、ええ、みんなおんな
し《同じ》なわけですね。

IE：ん、そうなんですよ。（白：うん）
そういう生活をずっとね、（白：う
ん）あの、やってきてる、ま、こ
れは移民の、＊、ま、ひとつの宿
命だよな。

【補足説明：写真結婚】

独身で移住した男性が結婚するとき、日
本に自分の写真を送り、それを見た女性が
ブラジルに嫁に行くという形がよくとら
れた。本人に会わず写真だけで決めるの
で、写真結婚といわれる。

白：うん、その結婚のときは、写真だけで決めたわけでしょ？

■ 最初の移住地について／渡航した船の話（32:40～）

IE：うん、まあ、そんなごどよね。（白：うーん）うん。（白：やっぱり…）で、
その、São José 《サン・ジョゼ》にいるときにね、（白：ええ）県庁から、
あの、この、Cotia 《コチア》青年の（白：ええ）実態っていうのを、いち
おう（白：あー、ええ）調べるのに、け、県庁のほうからね、来た人がお
ったんだよな。（白：ふーん）その人が、いちおう、あの、来て、あー、こ
ういうことかっていうかね、それは自分らの patrão 《雇い主》も福島県だ
からね。

白：あー。誰でした？ patrão 《雇い主》は。

IE：patrão 《雇い主》は、〇〇【人名】^ゆって言ってね、（白：うん）あの一、浜
通り【浜通り地方】。

白：あー、原町の＊【現在の南相馬市原町区】。

IE：うん、うん、うん。そこの人ですよな。

白：あ、その人の名前は初めて聞い＊＊＊＊。

IE：そうでしょう？

白：うん。^{あんぜもりじ}安瀬盛次【日系社会内で知られた人物であるため公人相当と見なし

て伏字にしない】とかって名前、聞きます* *。

IE : あ、安瀬も…、安瀬盛次は、あれはもう、あの、銀行屋だよ。(白 : あー)
あれはあの、んー、こっちの、ない、内陸のほうだからね、(白 : あー) 安
瀬* * っていうのは、あれは特別だよ。あれは福島だけれどね。

白 : あれは福島だけど、*、まだ別なんだ。

IE : あれは別です。あれはこっちの、あの、Mogiana 《地域名 : モジアナ (サン
パウロ州北部)》のほうですよ。(白 : あーん) ま、自分らは Central 《地
域名 : セントラル (サンパウロからリオデジャネイロに抜ける地域)》。(白 :
んーんー) 今は Central 《セントラル》いうたら、工業団地ですよ。(白 :
ええ) うん。今は百姓するそういう場所っていうのは、ま、今もや
ってる人おるよ、(白 : あー) その場所でね。(白 : うん) うん。でも、う
ちらの patrão 《雇い主》は、Cotia 《コチア》組合の、(白 : うん) んー、
あそこに São José dos Campos 《サン・ジョゼ・ドス・カンポス》の、あの、
なんていうの、倉庫、(白 : ええ) Cotia 《コチア》組合のね、(白 : うん)
えー、deposit 《倉庫》があった* *。(白 : ええ) そこで、だいたい自分
らを引き受けてくれだっていうごどくなるね。(白 : うーん) 多いんですよ。
その、自分らが働いてだところにはね、(白 : うん) えー、何人くらいいた
かな。Cotia 《コチア》青年 30 人以上いだね。(白 : あー) え、うちの…

白 : その 30 人ってのは、別に福島の人では…だけではない？

IE : じゃない。(白 : うん) い、いろいろ。(白 : いろいろ、うん) * * * * 入
ってる、まあ。んー…

白 : うー、あちこち。*、九州とかが多いんでしょう、やっぱし。

IE : 九州は、あそこにはあまり行ってなかったね。

白 : あ、そう。どご…

IE : あの一、東北の人が…、* *

白 : あ、やっぱ東北でまとまって入ったわけですか、最初は。

IE : あー、*。結局、^{とうほぐ}東北の人たちがまとめでそこに、(白 : ふーん) 組合で
送ってるね。だから、秋田県とか (白 : あー、うん) 青森、それから、あ
の、岩手、(白 : うん) ま、福島。うちの組は福島の人がだいぶ多かった
ね。(白 : うん) ちょっと離れてるのは山梨ね。(白 : あーあー) んー、こ
れはひとりおったね。(白 : うーん) それは Cotia 《コチア》青年第 5 回生

ですよね。

白：第5回生、うん。

IE：うん。第5回生っていうのは有名な…。

白：なに、有名ってのは…

IE：* *、*、そうなんです。ち、あー、チサダネ号っていうね、（白：ええ）
あの一、アフリカ回りの（白：あー、あーあー）船でケープタウン（白：
ケープタウン、うん）とおって、そして来てるんだよね。そういう、この
連中のながには相当有名な人がおる。

白：は一、ど、どういう

ところで* *…

【補足説明：移住者上陸の地サントス】1ページ参照

IE：* * *。

白：あー、あー、いろいろ…

IE：もう、それこそ、なんていうかね、もう船が Santos 《地名：サントス（移
住者の上陸する港町）》に着いたときには、plato 《皿》がひとつもなかつ
たというんだよ。（白：は一）全部海に投げられて、（白：は一）その乗船
者が（白：ええ）うん、（白：ふーん）あ、もう大変だったっていう、（白：
* *）それは、チサダネ号っていうのは、中国人、あ、そこで働いてたね、
（白：ええ、ええ、ええ）それを結局、に、あの一、【日本人の】青年の連
中がばかにして、（白：ええ）あー「チャンコロ、チャンコロ」いうて、（白：
ええ、ええ）その、食事の plato 《皿》をね、（白：ええ）出てくるものを
全部、あの、あー、船に、こう、窓があるね。

白：ええ、ええ、そこから【そこから】…

IE：* * * *。うん、捨てたと。（白：あー）そういう悪さしてた人がおるんだ
よ。{笑}

白：plato 《皿》投げて？

IE：そうそう。

白：【皿をなくして】^{めし}飯 どうしてたんすか、その人ら。{笑}

IE：{笑} だからね、そういう人が、あの、う、あ、ま、うちらんところに 10
人も入ったんだよ。（白：あー）ありやあにぎやかだった。

白：あ、楽しかった？

IE：うん。（白：うん）ま、あの一、うちの patrão 《雇い主》のところで、野球、

ひとチームできたんだから。

白：[笑] じゃあ、やっぱ楽しかったんだ。

IE：うーん、まあね、それはあのころ、この、なんていうの、（白：うん）Central
《セントラル》はCentral《セントラル》でひとつの、んー、いくつくらいの
部落【集落】になっとったかな。よっつ、よっつがいつつくらいの（白：
うーん）そういうね、（白：うん）うん、あの、分かれていたよね。（白：
うん）そこのなかから（白：うん）まあ、あの、ひとつの grupo《グループ》
のなかで野球、ひとチーム（白：うん）ずつみんな出して、（白：うん）あ
の、けっこう、野球やとったからね。（白：あー）うん。うちの patrão
《雇い主》のどごろでは野球ひとチームできたんだ。（白：あー）そういう
人、12 人くらいに、そこの長男次男も、（白：うん、うん、うん）これも
野球やとったからね。んー、ま、そういう Central《セントラル》の、そ
の、なんていうの、青年時代っていうのは、（白：ええ、ええ、ええ）あそ
こはけっこうね、（白：ふーん）そういうごどが盛んだったんだよね。

白：でも、そうやってやってた人たちって、あの、結局はそのあと、そこに
ずっと一緒にみんなでいだけじゃなくて…

IE：じゃない。

【補足説明：転住する移住者】33 ページ参照

白：もうみんな…

IE：うん。（白：* *）みんな方々に散らばってるね。（白：ふーん）だからね、
今うちらんどごろで働いてたその 12 人のうちの（白：うん）おー、変わり
種っていうかね、（白：うん）宝石商やってる。（白：あ）宝石の研磨、（白：
はー）Minas《地名：ミナスジェライス州》に行って。

白：Minas《ミナスジェライス州》行って。ふーん。

IE：うん。そういう人もいる。

白：*、いろんなごどやってるわけ。

IE：あ、いろんな* *

白：だがらもう、入ってそのままの人ってほとんどいないですよ。

IE：えーと、んー…

白：もう、うん、ブラジルどご行っても、もう、みんなあちこち、*、行って
…

IE：いー、行ってる。みんなあちこち行ってる。

談話 5

白：うん、で、もう 結^{けっきょく}局、もう最初はまあ…

IE：んー、もうばらばらんなってるね。

白：うん、最初は、まあ、東^{とう}北^{ほく}で固まってでも、結^{けっきょく}局はもうばらばら…

IE：あー、もうみんな、あー、方々に行ってるね。(白：うんうんうん) それで、えーと、あそこで働いて、(白：うん) 日本に帰ってる人もおる。

白：あーあーあー。ん、*、こっちでもうかったから、もう帰るってことですか。それども…

IE：んー、もうかった…じゃないよな。

白：あー、やっぱり。

IE：あれは、だいたいそういう tipo 《タイプ》の人だったんだ。(白：あーあー) うん、日本でもそういうごとして、ブラジルに、あの、兄さんから島流し食ったっていうね、(白：あーあー) ん、それは、あの、大学ちゅうとう…、は、中退で来て。

白：あ、そういう人もいた。

IE：* *ですよ。(白：あー) それはもう、強^{つわもん}者 ですよ。(白：{笑} いやー) いや、もう、普通の、あの、そういう tipo 《タイプ》の人間じゃないよね。(白：うんうん) ん、それは、あの、その兄さんはね、これは日本に置いたらどうにもならんと。(白：んー) なんとかがして、あの、その、こ、grupo 《グループ》からね、(白：うんうん) 引き離そうと、(白：うん) ほして、本人が知らんうちにブラジル行き決めてしもうた。ブラジルに島流しされたわけ。(白：{笑}) そういう人もいたんだよ。(白：そういう人…) * *、あー、う、あの、うちの patrão 《雇い主》どごにおったし、(白：ふーん) 自分らも、おー、いつもその人と (白：うん) 一緒になって仕事しとったよね。(白：うーん) それは○大【大学名】。

白：○大【大学名】。

IE：うん。

白：あー、えー、立派などご出でんでないすか。

IE：そうよ。(白：{笑}) そらもう悪さもずば抜けでるげんともね。

白：うん、頭^{あたま}もいいんでない？

IE：うん、頭もいいよ。{笑} (白：ふーん) ま、そういう人もね、(白：うんうん) もう、ほんとに Gotia 《コチア》青年っていうのはね、まあ、ピンから

キリまで。

白：いろんなのが混ざってだから、まあ、楽しいっての…

IE：あー、* *。混ざっておるし。

白：今でも、その、会報やったりだどが【コチア青年の会報が IE の家にも届いている】。

IE：あー、今でもね。(白：ねえ) んー、やはり、いろいろな人が来ておる。(白：うんうん) うん。まあ、それで、か、か、ま、だいたい、あの、Cotia 《コチア》 組合っていうのもね、(白：ええ、ええ、ええ) 組合の跡取りが* * * できておるの。(白：うんうんうん) そ、そういう人だちが、だんだん大きくなってね、(白：うんうん) で、ま、patrão 《雇い主》 以上の仕事^{しごと}してるっていう人は(白：うんうんうんうん) いっぱいおる。うん。まあ、Cotia 《コチア》 青年いうても、そういう人だちの集まりだからね。(白：うんうんうんうん) うん、まあ、あまり気にもせんで、(白：{笑}) {笑} みんなやってるよね。

白：気が楽なわけだ。

IE：うんうんうん。今、今もそうですよ。(白：うん) うん。ま、S、Suzano 《地名：スザノ》 から今度こっちに自分らは(白：んー) ま、ん、あー、なんていうの、移住振興【日本海外移住振興株式会社】っていうのあってね。(白：あーん) うん。それから、だいたい融資を受けて、(白：ええ) ほんで、ここ【ピラール・ド・スール】の土地をいちおう買って(白：ええ、ええ) で、ま、今(白：ええ) おるわけだ。

■ 仕事の話 (41:35～)

白：最初からずっと f、えっと、fruta 《果物》 ですか？ 最初っから。

IE：いちばん最初^じはね、(白：うん) こういうごど^じがあったんだよ。(白：ええ) ブラジルの政府がね(白：ええ) この、生産物に対して(白：うん) 15% の課税っていうのね、(白：あー) 税金ですよ。

白：ここは税金が、い、何^{なん}にでもかがって。

IE：15%すよ、生産物に対して。

白：15%っていうのは…

IE：うん、15%っていうのは、本当の儲けですよ。

白：うん、うんうんうんうん。

IE：そ、そんどきに自分はぴしゃっと辞めた。（白：あー）生産物を（白：ええ）
 そういう、しゅ、あの、出荷する（白：ええ）方法をね（白：ええ）辞め
 て、今度は、ほら、今いう朝市っていうのあるね。（白：ええ）ここでは
 feirante《露天市商人》っていうんだよ。

白：ええ、ええ、feirante《露天市商人》、うん。

IE：うん。これをね、えーと、8年間かな。

白：ふーん。あ、feirante《露天市商人》やっていたんですか、最初。

IE：そうですよ。

白：***、の、農家をやりながら？

IE：もちろん。自分でつくったものは自分で売するという、（白：あーあー）そう
 いう sistema《仕組み》に自分らは変えたんです。

白：あー、そうすると、税金もあれだから。

IE：税金は、は、払う必要ないでしょう。

白：うんうんうん。自分で店、店***

IE：そうなんです。で、あの、Itapetininga《地名：イタペチニンガ》に、
 たしか、5年…、6年くらい行ったかな。

白：feirante《露天市商人》で。

IE：そう。（白：あー）São Miguel
 《地名：サンミゲール・アルカンジョ（以下「サンミ
 ゲール」）》（白：**）って
 いう街と（白：うん、São Migu
 …）両方（白：ふーん）や
 ったわけ。（白：それ、あ…）
 それ、1週間に2回ね。

白：1週間に2回。う、売ったも
 のは何ですか、それは。

IE：はい？

白：う、何を売ったんですか？
 何を…、**

【補足説明：露店市商人（feirante）】



ブラジルの町では、週の決まった日に露店市
 が立つ。日系人のなかには、農作物などを露店
 市で売って財をなし、成功した人も多い。写真
 はピラル・ド・スールの露店市の様子。

IE: それはね、ここで作った野菜もの。

白: 野菜もの。

IE: うん。

白: tomate 《トマト》とか？

IE: tomate 《トマト》は作らなかつた。あれは農薬が使うから。

白: あーあーあー。じゃあ、何ですか。

IE: あー、(白: bata…) batata doce 《さつまいも》。

白: batata doce 《さつまいも》。

IE: サツマイモと、(白: うん) それから、あの、Mandioquinha 《マンジョキーニャ (芋の一種)》っていうのがあるね。

白: Mandioquinha 《マンジョキーニャ》。

IE: うん。

白: ふーん、それはブラジルの野菜？

IE: うん。そうそうそうそう。これは、あの、あの、にんじんと一緒に組み合わせて売る (白: ふーん) まあ、あの、芋、芋ですね。(白: あーあーあーあーあー) そういうのを、い、あー、ここで作っておいて…

白: え、え、にんじんも一緒に作ってた？

IE: もちろんにんじんも^{つく}作^つったよ。

白: じゃ、それも売った？

IE: お、もちろん。(白: うーん) うん。(白: あー) だがら、そういう、あー、芋、(白: うん) それから、あの、batata 《じゃがいも》ね、芋ね。

白: batata 《じゃがいも》、batata 《じゃがいも》の…、え？

IE: これは買ってくるんですよ。1 週間に^{さんじゅつ}3 0 俵くらい。(白: は一)^{さんじゅつ}3 0 俵くらい買って (白: ええ) それを持ってって、う、売^うるのね。

白: か、買うってのは誰から買うんですか。

IE: あ、芋つくってる人から。

白: この辺の？

IE: うん。

白: 日系の？

IE: うん。(白: ふーん) あ、batateiro 《じゃがいも農場》に行^いって。

白: batateiro 《じゃがいも農場》、あー、なるほ…【「なるほど」の言いさし】

IE : batateiro 《じゃがいも農場》に行ってね（白：うん）どこそこで誰それが
今度、（白：うん）あの、掘り始めたという、そしたら、それ、そこに行っ
て…

白：あ、じゃあ、ほかにもいろんなものを買、買いながら…

IE：もちろん、あの、あ、芋を買ったり（白：うんうん）今度は、あの、cebola
《玉ねぎ》ね。玉ね…

白：cebola 《玉ねぎ》、玉ねぎ。うん。

IE：うん。これも買って。これは、あの、置ける《日持ちする》からね。（白：
あーあーあーあーあー）いっぺんに、***、いっぱい買ってきて（白：
うん）そして吊るしておけばいいから（白：うんうん）ほんで、売れるだ
げ、*、それ持ってくるね。（白：うん、うんうん）そういうやりかた compra
venda 《売り買い》っていうんだよね、それ。

白：うん、あ、compra venda 《売り買い》して。

IE：うん。（白：うんうん）ん、それを、いちおう、ひとつの、あの、基本にし
てね（白：あー）んで、自分で作ったものは（白：うん）もう、儲けの、
ほんとの、あの、純…（白：ええ）うん、収入っていうことになるね。（白：
うん）よそから買ってきたもので、今度はいろいろな（白：うん）あの、
おー、肥料を引いたり（白：うん）えー、そういうような結局、ま、販売
のやりかだを、いちおうやったわけよね。

白：feirante 《露天市商人》辞めたのは何ですか。

IE：もう、あの、fruta 《果物》ができるようになったから。（白：あー）fruta
《果物》を作って、これは桃^{もんも}ですよ。

白：ええ、あー、pêssego 《桃》。

IE：うん、うん、pêssego 《桃》ね。（白：うん）これは、あの、植えて作って
生産できるようになったら（白：うん）もう、あの、その、時間がない【時
間をかけずに作れる】。

白：あー、あー、え、そっちのほうで儲かるから。

IE：今度は fruta 《果物》のほうで儲かるから（白：うんうん）今度、それを全
部切り返し【「繰り返し」か】。

白：は一、で、それで今まで、こう、fruta 《果物》をやってる。

IE：そうですよ。ずっとうちはもう…

白：じゃあ、fruta《果物》がずっと長いわけですね。

IE：あ、fruta《果物》はもう何十年も。

白：あー、じゃあ、最初の、えー、^{しちはち}7～8年ぐらいなわけですね、こっち来てから、その、やるっていうのは。

IE：そ、その、fruta《果物》に変えるね（白：うん）うー、その、えー、時期に（白：うん）それを変えてるわけ。（白：うーん）ま、いろいろな、その、時期には、や、もううちの家内も（白：うん）São Miguel《地名：サンミゲール》のfeira《市場》は自分ひとりでもってやってる。

白：あ、あーあー、奥さんがもう。

IE：そうですよ。（白：あー）こっちから品物を持って（白：うん）São Miguel《サンミゲール》に、お、置いて（白：ええ）それから Itapetininga《地名：イタペチニングア》に（白：ふーん）うん、行くと。

白：それは車で持ってぐわけですか。

IE：もちろん車です。

白：じゃあ、車は早く買ったわけだ。

IE：うーん、まあ、車はね。やはり必要品だから。

白：あー、おー、やっぱりそれは月賦とか…

IE：いやいや。月賦じゃない。そりゃもう最初から、あの一、* *

白：お金、持ってた。

IE：新しいのは買わないから。ちゅ…

白：古くて安い。

IE：うん。中古品、もう、いちおう買ってね。

白：そういうの買うときに例えばこっちでは、その、あの、お金出し合ったりとかそういう…

IE：あー、全然。それはよそからは借りてこない。

白：あ、そう。

IE：うん。もうあの、自分らがそういうふうにして、ね、税金を払わないから。

{笑}（白：{笑}）えー、ぜ、税金払ったらもうとんでもないよ、ブラジルで、んー、あの一、certo《取り決めどおり》に税金払ってたら、うー、壊れちまう。うん。

白：あー。{笑}

IE: ま、だからね、そういう、ま、裏、裏をかいて（白：うん）そして結局、feirante《露天市商人》というのはそういう税金を払わないね。（白：ええ）そういうやりかたで。（白：うんうんうんうん）ん、んー、まあ、そういう、なんていうの、ブラジルはブラジルで少しのんびりしたところが（白：あー、それはね）あるからね。そういう方法っていうのは、案外ね、（白：うん）あの一、みんなが認めてる（白：うん）そういう商売だからね。だから、今も、この、f、あー、feira《市場》、feirante《露天市商人》、あの、〇〇【人名】さんっていう人がね、あの、Pilar《地名：ピラール》の大きな百姓し*る【「しとる」にも「しよる」にも聞こえる】（白：うん）この人のおばあちゃんがね（白：ええ、ええ）あー、Pilar《ピラール》では、あの、自分らも一緒に feira《市場》やった人です。（白：あー）このおばあちゃんは…

白：あー、もう、みんなやってんですね。

IE：はい？

白：そ、そんなの、みんなやってるわけだ。

IE：ああ、やってますよ。だから、あの、Pilar《ピラール》の街っていうのはね（白：ええ、ええ）たいてい、あの、半商半農ですよ。

白：あー。もう、みんな、み、ま、Pilar《ピラール》だけでもなくて、けっこう、そこは、それ、ど、日系人、みんなやってましたね。feirante《露天市商人》から、*****ね。

IE：ああ、**、やってますよ。半商半農っていう**、結局、半分商売でね。（白：うん）それでなかったらもう難しいよね。たいてい大きくなってる人たちはね。で、ブラジル人でもね（白：うん）大きな店だなと思っても、ちゃんと農業やってる。（白：あー）だから、あの、ちょっとしたごども、あの、ぐらつかない。

白：あーあーあー。じゃあ、どっちかがあれでも大丈夫…

IE：だから、商売が、少し、あの、あー、弱くなっても（白：うん）今度は、あの、その lavoura《畑仕事》のほうからの（白：あー）その収入でいちおう、あの、それを（白：ええ）***して**ね。

白：じゃ、いろんなものやって安定できる。

IE：あ、うちの、あの、子どもだちもみんなそうですよ。（白：そうですね）

もう長男なんか、もう…

白：なんかいろいろやってますよね。

IE：はい？

白：いろいろやってますよね。

IE：うん。

白：computador 《コンピューター》の…、店とか。

IE：うん、まあ、あ、あれが本職なんだけど、どっちが本職なのかなという、（白：

*****）今、ここで、あの、いろいろな、ひ、あの、桃を作ったり（白：あー）あの一、みかん作ったりね。

■ どんなことばを使うか／家族の話（49:25～）

白：その、その、例えば息子さんは、もう Português 《ポルトガル語》べらべらしゃべれますけど、家では Português 《ポルトガル語》は教えたりはしましたか。日本語、家の中はずっと日本語？

IE：う、うちに入ったら日本語だよ。[笑]

白：全部。じゃあ、学校で覚えたわけ。

IE：もちろん学校ですよ。（白：あー）いや、だからね、あの、面白い、あの、長男の場合ね（白：うん）あの、休みで（白：ええ）うちに帰ってくるね。（白：あー）*****、うちで ^{はなし}話しておる。（白：うん）日本語ですよ、全部ね。（白：うんうん）さて、大学へ戻ったら、「おまえ、本当にブラジル人か」と。（白：[笑]）[笑] その、acento 《訛り》がね（白：ええ、ええ）んー、日本的なんだよね。

白：あー、やっぱり。んー。

IE：んー、そういうね。ま、それは、うちに入ったらもう、port、あー、portão 《門》入ってきたら日本語だから（白：んーんー）だから、孫だちもね（白：んー）もう、じいちゃんばあちゃんと ^{はなし}話するのは（白：んーんー）みんな日本語。（白：んー）こっちは Por、あー、Português 《ポルトガル語》でいわれてもさっぱり訳がわから…

白：いやいやいや、この間、車、当てられて。[笑]

【この前々日、IE は白岩を乗せて車を運転しているとき、後ろの車にぶつけられた。そのとき、ぶつけたブラジル人に IE がポルトガル語で勢よく文句を

言った。そのことを思い出しての話題】

IE：え？

白：え、おじいちゃん…

IE：あー。

白：ポルトガル語で。

IE：[笑] ま、それはね。

白：あれぐらいはやっぱりしゃべれるわけですね。

IE：いや、それはしゃべらなったら…

白：やっていけないでしょ。

IE：うん。feira《市場》なんかやれない。（白：うんうんうん）feira《市場》には面白い人たちがいっぱい来るんだよね。もう、警察官も来るし、学校の先生も来るし（白：うん）＊、もう、あの、政治家も来るしね。（白：うんうんうん）うん。もういろいろな人が来る。それがやっぱり feira《市場》の面白いところあるね。うん。

■ 東日本大震災の話／日本のテレビや本の話／日系団体の話（51:05～）

白：あとは、あの、最近の話、聞きたいんですけど…

IE：はい。はいはい。

白：あの、んで、だいたい、あの、震災のときには、そのニュースっていうのは、もう、すぐ知ったわけですね、たしか。地震のニュース。

IE：あ、あ、それはもうね（白：うん）もう、あの、テレビですぐ（白：うん）発表したよね。うん。

白：あー、もうそんなときテレビ見でだんですか。

IE：テレビはもう…

白：エネエチケー
N H K つけて。

【補足説明：NHKの海外放送】43 ページ参照。

IE：テレビのニュースは、もう、欠かしたこどないよ。

白：いやでも、だって、日本であれ2時…ね、50分ぐらいだから、こっち夜だったでしょ？

【補足説明：東日本大震災とブラジル日系社会】
66 ページ参照。

IE：そうそうそうそうそう。

白：朝つけたらやってた？

IE：えー、やはり分かるっすよね。（白：あー）これはとんでもないごどん

てるなっていうね。

白：毎朝 ^{エネエチケー} N H K 見てる？

IE：ん、え、^{エネエチケー} N H K しか（白：しか**、あー）入らんからね。んー、日本の…

白：あ、ブラジルのテレビは入らん。

IE：いや、ブラジルのテレビは入るけれどね。

白：見ない？

IE：うん。いや、見るけれどね（白：ええ）それは、あの、日本のほうが早い。

白：あ、早い。

IE：あー、早い。もちろん早いつすね。

白：あー、うん、それはもう、ええ、地震の話は、うん。

IE：だから、世界のニュースっていうのは、まあ、いちばん最初、あの、^{エネエチケー} N H K じ
こう見るね。（白：うんうんうん）そうすると、今度、ここの、あの、チャ
ンネル quarenta 《40》【40 チャンネル】っていうのがね（白：ええ）^{よんじゅう} 40
っていうのが globo 《世界》の（白：うん）この、ブラジル語で（白：う
ん）やってね、***なんすよ。

白：*、その震災があったどぎ、こっちの Pilar 《地名：ピラール》でいろいろ
義援金、集めてくれたりしたらしい…

IE：集めましたよ。お、みんな、ま、これは大変だと。（白：あー）それから、
あの、それは、ぶ、文協ね（白：あー）文化体育協会、それが中心になっ
てね。

白：文協中心で。

IE：そうですよ。それがみんな集めて（白：うん）そしてこの場合は、この、
んー、聖南西地区【サンパウロ州の南西地区】っていうのはね（白：ええ、
ええ、ええ）いろいろな、この、あちこちの文協が集まった（白：うん）
ひとつの大きな grupo 《グループ》な****。

白：うん、聖南西で。

IE：そこに、いちおう出して（白：うん）ほんで、あの、ここから送ったもの
は、あの、今度は São Paulo 《地名：サンパウロ》の文化協会ね、（白：え
え）ここで、いちおうまとめて（白：うん）日本の赤十字社に送ってると
いう話聞いた。

白：あーあーあーあー。

IE：だから、せきじゅ、赤十字社に送った場合は（白：うん）発表がないんだよ【「赤十字の募金」としてまとめられるので、どこからどれだけの募金があったのか公式に発表されない】。

白：発表がない。うん。

IE：ないんですよ。（白：うん）だから、あの、ブラジルから送ったのがみんなそこへ行ってるでしょう。（白：うん）そうすると、ほの、発表がないから（白：うん）本当にこれが、あの、おー、それは、【しっかり日本に】送ってるんかなっていう、今度はこっちで疑ったこともあるよね。

白：あー、赤十字通しちゃうとね。

IE：うん。駄目なんですよ。（白：うん）で、あとでわがったことだけれども（白：ええ）これは領事館に送って（白：ええ）それから今度は、あの、^{エネエチケー}N H Kをつうじてね（白：ええ）向こうに送ったらちゃんと【どこからの募金か】発表してくれる。（白：あー）それはあとでわかった。（白：うんうんうんうん）^{おぐ}送ってしもうてからだから、あー、もうどうしようもないね。（白：うんうん）んで、だから、あの、ブラジルからどれだけの義援金が行ったってごどは、全然発表してないんだよ。

白：うん、^{べず}別にまどめっちゃうがら。

IE：ほんで、え、そうなんですよ。あの、^{せぎ}赤十字社でね。

白：うん、ブラジルからかなり来てますよね（IE：うん）日系の。

IE：だから、あの一、それは、カナダとか（白：うん）向こうのほうは、いや、どれだけの、あの、義援金が日本に来たどがって、それはちゃんと（白：うん、うんうんうん）^{エネエチケー}N H Kで発表しよったよね。「はて、ブラジル、^{おぐ}我々送ったのはどごに行ったんだ」と。（白：うんうん）で、それを問い詰めでいったら、いや、赤十字社に行っているんだと。（白：うんうん）これは大きな間違いだったなっていう…

【この日の町の敬老会で、白岩は福島から来た客として義援金のお礼を述べた。以下はその話題】

【補足説明：敬老会と義援金のお礼】

調査の日、たまたまピラール・ド・スールでは日系人の敬老会が開かれていた。白岩は、会の途中に登壇の機会をいただき、福島県からの来訪者として、義援金のお礼を述べさせていただいた。ありがたいことである。

白：あー、まあ。でも、今日、本当に、あの、あの前でね、私、(IE：****)

おれを言うことができて、あの、僕、福島から来た人間として。

IE：うん、んー、まあ、うん、あれはみんな、やはりね(白：ええ)んー、^{よろこ}
んでくれたよね。

白：あ、そうですか。

IE：うん、ここのPilar《地名：ピラール》の人たちが特にね(白：ええ)自分
らが出したのがどこに行ってるって、今度はね、会長が責められたよね。

白：あー、そん…、あー。

IE：んー、ほしたら、「いや、自分らの、あれ【義援金】は、この聖南西【聖南
西地区の文化体育協会】に*、出してる」と。ね。

白：あー、ま、そうですね。

IE：そうなんですよ。

白：うん。

IE：んで、それが、あの、全然わからないから、みんながね(白：うん)**、
「自分ら、【義援金を】出して、あの、それはどこに行っちゃったんだ」と。
(白：うん)え、結局、その、赤十字社を通じて(白：うん)行ってるっ
ていうごどが(白：うんうん)みんな、あとでわかったわけね。んー。

白：あー、それでまあ^{なっとぐ}納得して？

IE：まあ、納得したって、****、日本に行ってるんだから。{笑}

白：^{なっとぐ}納得って、*、しかたがない。**、行って***

IE：うん。

白：**、いや、僕も^{ほぐ}福島に帰ったら、あの、Pilar《ピラール》の話はみんな
なにしますよ。

IE：はいはい、まあ、ぜひお願いしますよ、んー。

白：そうそうそう。

IE：まあ、ほんとね(白：うん)えー、やはりみんなね。で、そのあとからで
すよね。(白：うん)今度は、いや、あの、ゲートボール協会とかね、あの、
Cotia《コチア》青年とかみんなまどめで、Cotia《コチア》青年の場合は
宮城県の方に送ってるね【赤十字社を通さずに送っている】。

白：あ、県に、お、^{ちよくせず}直接。それが^{いじばん}一番わかりやすいんです*。わかりやす
い。

IE: うん、*、うん、わかりや**。あの、なぜかいうたら、あの、Cotia 《コチア》 青年の連絡協議会の（白：うん）元〇〇【役職名】しよった人が、あの、宮城県から出できた人なんですよ。（白：あー、あ）〇〇【人名】さん、さんという人がね。

白：ええ、〇〇【人名】さ…

IE: 〇〇【人名】。

白：えー、宮城…、あー、〇〇【現役職名】やってる人じゃないですか。

IE: うん、たしか今そうです（白：うん）〇〇【人名】っていうのはね。（白：うんうん）あれは、あの、なん、何回生だったかな。あれは自分らよりずっとあとなん…（白：うーん）、…にきた人ですよ。（白：あー）Atibaia 《地名：アチバイア》にだいたい、（白：ふーん）あの、住んでる人**。（白：あ、そうなんですか）あそこから***ってるね。（白：ふーん）今、〇〇、〇〇【現役職名】だね。

白：だ…はずですね。

IE: うん、うん。〇〇【人名】っていうのは。（白：そうそう）ま、だから、そういうね、あ…

白：うん、そうそう。そういう話を伝えるためにもこうやって録音とったり…

IE: わかるでしょ。

白：そうそう。えー、そういう話をみんなに聞かせないと（白：うん）日本、日系の人たちが（IE: あー、そうですよ、*、だから…）やったと、それ伝えるのが、ぼ、んー、俺の^{だじ}仕事^{しごと}だから。んー。

IE: うん、うん、で、やはりね、そういう福島から来た人ら（白：うん）来た人たちもね（白：うん）んー、だいぶおるんだろうけれども（白：ええ、ええ）その、まとめて、だいたい、あの、送ってるっていうのは（白：うん）あの、あー、Associação Cultural 《文化協会》ね（白：うんうん）あの、文化体育協会（白：ええ、ええ、文協）そこを通じて、だいたい送ってるよね。

■ 会話を終了する (57:05~)

白：***、だいたいね、これでだいぶ時間なっちゃったがら。

IE: はいはい。

白：うん。

IE：もういいで**。

白：うん、このぐらいで。(IE：はいはい) 聞きたいごど、全部聞けました。ありがとうございます。

IE：はいはいはい、そりゃよかった。[笑]

白：これを、じゃあ、さっき、あの、文字に起こして (IE：はいはいはいはい) んー、あの一、資料にしていいますか。

IE：はい、いいですよ。

白：んー、あの一、あんな感じで。【録音する前に談話資料の見本を見せており、それを「あんな感じ」と表現している】

IE：はいはいはい。

白：あの、こういう話。**

IE：ま、しゃ、いや、いろいろしゃべる^ゆ言ったら、*、あ、いっぱいあるんだよね。(白：うん) あるんだけどね、もうそんなに時間とったら【文字化が】大変だよ。[笑]

白：[笑] また来^くっから。

IE：はいはい。

白：うん。はい。

談話 6

【談話 6】SA (3 世) - 白岩 (調査者) (-NE (2 世)) 31 分 43 秒

収録地点：ピラル・ド・スールの SA 氏の自宅

収録日：2012 年 9 月 7 日

話者の関係：SA と NE は夫婦。NE は途中で風呂に行くので SA と白岩の会話が主となる。白岩はピラル・ド・スールで 3 泊 4 日の調査をおこなったが、その 2 泊目の晩に、SA・NE 夫婦の家に泊めていただいている。この談話はその晩の夕食後に録音したもの。SA は 1 世の父と 2 世の母の子なので、いわば「2 世半」ともいえるが、本報告書では 3 世としておく。

■ 会話を開始する (0:00～)

【NE が夕食の片づけをする音がバックに入る】

白：これ、こうやって、こうやって、【白岩の携帯電話のメール着信音が鳴る】その音をとって、で、日本の大学の学生とかに聞かせると (SA：あー、はい) みんな喜ぶんです。(SA：はい) これ、あるとね。(SA：{笑}) {笑} いいですかね。こういうのをとって。

SA：ああ、いい。

白：お父さん【SA のこと】の声を大学で * * * * たりとか。

SA：だいじょぶ。

白：だいじょぶ？

SA：ただ、あの、いいこと話すか、それはわからない。{笑}

NE：{笑}

白：{笑} 悪いことはね、消す。あと、人の名前とかは全部消します。

SA：あー。

■ 結婚の話 (0:35～)

白：で、こっち来たのは、えっと、何年でしたっけ。もう、けっこう…

SA：じゅ、15 年。

白：15 年。

SA：はい。前、あの、えー、知り合いになって、ちょっと na、namora 《交際》って、なんて、namora 《交際》、que 《何》？

NE：【namora を日本語で何と言うか助け船を出して】「つきあって」。

SA : つきあって。

白 : あー。まだ namorada 《ガールフレンド》だった。

SA : そうそう。あの一、知り合うときね。(白 : うん) それから、結婚してもう
15 年になる。なったんだね。

NE : 今度の^{はつか}20 日に。

SA : でも、あの、ちょっと早めに来てたから (白 : んーんーんー) ちょ、ちょ
うどだった。{笑} ちょうど 15 年。

白 : ちょうど 15 年。

NE : ちょうど 15 年ね。

SA : ええ。

白 : え、結婚したの、何日ですか。

SA : えー、vinte 《20》…

NE : 9 月の^{はつか}20 日ですね。{間} **、あと何日かで、*** (白 : **) 15 年。

■ 家族の話／仕事の話 (1:35～)

白 : あの、最初に来たときからこの家だった…

SA : はい、そう。

NE : 逃げます。{笑} 【と言って風呂に行く】

白 : {笑}

SA : はい。

白 : あー、そう。

SA : うん。でも、2 年ね、あの、おー、その前、あの、おか、お母さん【NE の
母、SA にとっての義母】がここに住んでたから (白 : はい) えー、今、結
婚して、あの、僕らがここに住んで。えー、でもね、お母さん、ここ、あ
の、好きの、街に住む。

白 : あ、街に住むの好き？

SA : はい。

白 : よく来てますよね。

SA : そうそうそう。んー、何年か前ね、acho que 《たぶん》お、4 年ぐらい前、
あの、2 年ぐらい、あの、【バックにバイクの音が入る】家を僕が、あの…

白 : こっちに来いと。

談話 6

SA : あ、そうそう。

白 : で、こっちに呼んで。

SA : não、não 《いや、いや》そして僕は、あの、あー…

白 : 田舎【義母の家】のほう…

SA : 行ったの。(白 : あ) に、2 年、その、変えた【街にある自分の家と田舎にある義母の住む家を取り替えっこした(互いの家は車で 10 分ほどの距離)】。

白 : mudança 《引っ越し》して。

SA : はい。(白 : ふーん) んー、その、ね、えー、おが、お母さんが街に、街にちょっと住みたいって^ゆ言って、1 年ね、1 年、あの…

白 : 1 年だけ変えて。

SA : そう、não 《いや》、それ、あー、1 年、いー、…でいいって^ゆ言ってたのね。でも、街に…、す、好きだから、2 年に、2 年、あの、ここに…

白 : あ、で、また戻ったのは、やっぱり向こうのほうがよかった？

SA : どっちに、よかった？

白 : あ、おかあ、だから、お母さんはこっちに來たけれども、また戻っちゃいました**。

SA : はい、そうそう。あ。

白 : やっぱり街よりは田舎のほうが、〇〇【集落名(微細な地名なので伏せる)】のほうが…

SA : não 《いや》、お母さんの場合は、いつも acho que 《たぶん》街のほうがいいって思う。

白 : お父さん？

SA : お父さんは【田舎にある畑に】通ってたから、毎日ね。

白 : お父さんがやっぱり働く。

SA : そうそう、そうそう、そう。(白 : あー、****) そしたら、向こうのほうが、あの、いいね、あの、お父さんにはいいから、お母さんにも、あの、お母さんもあそこで。

【補足説明 : ピラール・ド・スール郊外】



ピラール・ド・スールは小さな町で、郊外には農地が広がっている。SA の義父母は、現在、郊外の小さな集落に住む。写真はピラール・ド・スール郊外の果樹園。

白：え、pesqueiro《釣り堀》とか作ってたときも…

SA：…も、もあった。そう。

白：あー、手伝いましたか、ajudo《手伝い》。

SA：僕は、あの、一緒に、あの、【釣り堀を】開けたのね。[笑] うー、あ、idéia
《アイデア》は僕のだったの。

白：あ、そうなんですか。

SA：pesqueiro《釣り堀》。その、あれ、pesqueiro《釣り堀》開けてから、もう
12年ぐらい。えーと、そのとき、は、その、pesqueiro《釣り堀》って、は
やってたの。

白：あ、はやってた？

SA：そうそう。

白：あの、〇〇さん【SAの義父の名前】のうちだけじゃなくって。

SA：うん、そう。あの、みんな、あの、***【コジーンと聞こえるが不明】
の人は、あの「あー、pesqueiro《釣り堀》に行きたい」とか（白：ええ、
ええ）そのときは行きたかったのね、pesqueiro《釣り堀》に。（白：pesqueiro
《釣り堀》に）あの、ブラジル人とかね。（白：ええ、ええ、ええ）今は pesqueiro
《釣り堀》って^ゆ言っても、もう…

白：でも、けっこう、来る人、多いみたいでしょ？

SA：não、não、não《いや、いや、いや》、あ、でも、あの、あの、私の a、amigo
《友達》の pesqueiro《釣り堀》は、そこは入ってる、あの、人来るね。

白：ん、amigo《友達》の pesqueiro《釣り堀》どこですか？

SA：ん、ちょうど、ぺ、〇〇【集落名】に行く道に、中間にある。

白：あー（SA：うん）あ、じゃ、もう、この辺、けっこうあるんです*、* *。

SA：não、não《いや、いや》。

白：あ、そのふたつだけ？

SA：ふたつ。

白：ふたつだけ。

SA：それが日本人がやってる。

白：両方とも日本人。

SA：両方とも。

白：ブラジルでは、んー、釣り堀ってやらないんですか。

談話 6

SA : pesqueiro 《釣り堀》？

白 : pesqueiro 《釣り堀》、あー、そうそう…

SA : não、não 《いえ、いえ》。あの、えー、く…、あ、Sorocaba 《地名：ソロカバ》行く道に、えー、その、あ、ありますね。

白 : あ、いっぱいある。

SA : でも、今はその pesqueiro 《釣り堀》って、もう誰でも、し、もう行ったことあるから、あの、あ、あまり…

白 : もう、その…

SA : そうそう。

白 : やらなくなってきた。

SA : そう、はい。それが悪かったね。でも、もし * * * * 【ベンニアと聞こえるが不明】の（白 : ええ）やったら、acho que 《たぶん》お金なるって思うよ。今はお父さんだけだから。

白 : もう、し、半分趣味？

SA : そうそう。

白 : 好きでやってる？

SA : はい。え、まあ、そんなお金、* *、ならないって思う。（白 : うーん）pesqueiro 《釣り堀》ってね。

白 : お金はもう、そういうつもりじゃないでしょう。

SA : うん、não 《いや》、今、お父さんは、* *

白 : 少しは、まあ、とってるけど。

SA : うん。すこ…、não、não 《いや、いや》、すこ…、あれは、あの、自分、好きでやってるね。（白 : 好きで）うん。前、最初は作ったのはね、まあ、お金なる…、作ったけど、でも、あの、あの、水が大事になって思ったから…、あの…

白 : あ、そうそうそう。畑に。

SA : 畑に使うね。だから、あの、池作った。ね。【釣り堀は、最初は畑の用水の溜池として作ったものである】

白 : で、あるから、魚も入れて。

SA : はい。{間} 前、これから、あの、今日来てた、す、あの、ね、友達（白 : ええ）【この日にあったホームパーティーに来ていた友達のこと。白岩もパ

ーティーの場でともに過ごした相手】「これから先、acho que 《たぶん》 魚がいい」って、（白：んー）あの、「魚を（白：んーんー）小さいときから、それ大きくして、店にあげたらいいこと」って^ゆ言^ゆってた人、今日いた、友達。あの、働く人あまりいないからね。（白：ええ）あの、魚、それを、つ、あの、やるには、あまり人を使わなくてもできるって。

白：うん、あー、それは誰も使わなくても。

SA：うん、あのね、んー、餌だけやったらね。だから、「いいこと」って、おー、その友^ゆ達^だ言^ゆってた、今日。これから先。そして、ブラジル人も、あの、peixe 《魚》、魚。（白：peixe 《魚》）あの、もっと食べるになってきよるから。

白：うん、うんうん、あー、そ、そうなんですか？

SA：そう。

白：carne 《肉》じゃなくて peixe 《魚》のほう…

SA：そうそう。もう、みんな宣伝あるから、あの、魚の肉のほうが、あの、牛のよりいいって（白：うん、あ、あーあー）もう日本人と* *（白：おなじ）似てきてる。（白：うんうん）日本人は、うー、あー、今日、えー、その人^ゆ言^ゆってた、1年に、ブラジル人は、あの、12キロ、1年に、平均したら、ブラジル人、12キロ1年に…

白：carne 《肉》食べる。

SA：はい。não 《いや》、その、魚ね。

白：peixe 《魚》？

SA：はい。

白：食べますね。

SA：não 《いや》、ま、日本にしたら acho que 《たぶん》 その倍食べてるって、お、その人、たぶん、たぶん*、食べてるって*。

白：いや、僕、そんな食^くべる^べで^でる^るつもり^もり^りな^なが^がつ^つた^たけ^けど^ど。

SA：ええ。んと、えー、これから先 acho que 《たぶん》、えー、たぶん、その、peixe 《魚》の（白：peixe 《魚》）ねえ、こう、もっと食べるって思って、それを、その商売^{しやうばい}や^やつ^つた^たら^らい^いこ^こと^とつ^つて^て。（白：うんうん）僕は、* *、この10年やってて、まあ、悪いとは思^{おも}わ^わない^いけ^けど^ど、まず、あの、んー、そんなにお金^{かね}なら^らない^いな^なつ^つて^て思^{おも}う^うね^ね。こ^こっ^こち^ちは^はも^もう^うや^やつ^つて^て、あの、んー、えさ代^{えさだい}とか（白：うんうん）今、特別^{とくべつ}高^{たか}い^いね^ね、あの、* *…【何かの言

さし】

白：あ、高いんですか、やっぱり。

SA：ええ。corn《とうもろこし》【英語の corn を「コルニ」のようにポルトガル語読みしたもの。ポルトガル語でとうもろこしは milho】が高いから。

（白：corn《とうもろこし》が、ふーん）うん。えー、そして、あの、大豆もね。

白：あーあーあー、soja《大豆》【スペイン語と間違えて「ソーヤ」と発音】も高い？

SA：高い。soja《大豆》は世界でも。今年、あの、アメリカが、se、あの、seca《日照り》

白：あ、あー、あ、アルコール。エタ、あの…【バイオエタノールの需要で値段が高くなったのか、という意図の質問】

SA：não、não《いや、いや》、今年、あの、なんていう、あー、えー、seca《日照り》、雨降ってない、雨* *…

白：あー、seca《日照り》、あーあー、もう、雨降って* *、うん、seca《日照り》。

SA：お、それで、あの、safra《収穫》、safra《収穫》落ちたの、アメリカで。

（白：あー）今年、あの、えー（白：そっか。ええ、少ない）ふつうの40%だけとる、とる* *（白：あ、じゃあ）アメリカでね。（白：ええ、ええ）だから、その、それが、あの、高くなってる。だ、だから、ここも、あの、大豆も高い。（白：んーんー）それは、あの、その、餌の（白：うん）使う（白：うんうん）大豆とか（白：ええ、ええ、ええ）コーン【cornを英語で発音】ね。

白：ええ、なるほど。（SA：うん）その分で。

SA：* *【ポルトガル語の mas（でも）にも日本語の「まず」にも聞こえる】、あの、僕は、んー、池あって、あの、え、あー、夕方（白：ええ）んー、もし、ま、今、あの、がんばった、まだ、もうすぐは、若いから、がんばら* *、がんばってやる。あの、それは、あ、えー、果物。（白：果物）まあ、年いったら、その、一軒家ひとつぐらいあって、夕方とかちょっと…【今はまだ若いから果物作りに精を出す、年をとったら釣りをして好きに過ごしたい、ということ】

白：好きなように。＊＊。

SA：ええ。刺身とか（白：刺身作って）食べたらいって思ってるね。

白：でも、なんかね、家まで建てて。

SA：【笑】うん。それ、できたらいいね。

{間}

■ ブラジルでの生い立ち（10:00～）

SA：前、小さいときね、あ、あの、父、僕の父（白：あー）好きだったね、pesca
《魚釣り》。

白：pesca 《魚釣り》。

SA：あー、そう。あー。

白：す、好きだった？

SA：うん。だから、eu 《私》 も、んー、覚えてんだね。

白：ふーん。

SA：うん。いや、その…

白：子どものころ、じゃあ、pesca 《魚釣り》 やってましたか、お父さんも。

SA：はい。うん。その、eu 《私》 が住んでたところ、街（白：ええ）んー、池、
represa 《ダム》 って（白：ええ）すごい大きな、あの、水ある（白：ええ）
ところある。（白：ええ）だから、魚、あ、いたのね。（白：いた）うん。だ
から、pesca 《魚釣り》 覚えた。

白：その、な、なんていう町でしたっけ。その…

SA：Carlopolis 《地名：カルロポリス》。

白：Carlopolis 《カルロポリス》。

SA：はい。

白：Carlopolis 《カルロポリス》 は、日本人はどれぐらいいたんですか。

SA：ここは、あの、30% ぐらいね。（白：あー、じゃあ）ええ。あー、あの、日
本人会もあった、あ、ある。（白：うん）でも、ここは、え、えー、105 人、
えー、50（白：ええ）家族ね。

白：150 家族。

SA：会員。【日系人の協会の会員】

白：会員、会員も…

談話 6

SA：会員、ふく、ふく…、****、não 《いや》

白：200 ぐらい？

SA：あー、はい。向こうでは 70。

白：70。

SA：あー、70、80 ぐらい。

白：大きくはないけど、そんな小さくもない。

SA：ええ、ええ、そうそうそうそう。

■ ブラジルでの生い立ち／日本語学習の話（11:20～）

白：でも、日本語はそのときには全然覚えなかったんですね。

SA：えー、11 歳か 12 歳とときに半年、あの、日本語をしたの。

白：日本語学校。

SA：はい。カタカ、カタ、カタ…ナ【「カタカナ」の言いさし】、não 《いや》、ひらがなぐらい覚えた。

白：じゃあもう、お父さん、お母さんは、家では Portugues 《ポルトガル語》…

SA：んー、は、はな、話す？ うん。えー、まあまあ、お父さんも、あの、日本から来てたけど、あの、ポルトガル語覚えたんだね。（白：覚えた）あの、便利じゃなくてもね、あの、んーんー、私が日本語ぐらい、は、話すぐらいのポルトガル語を使う**ね。い…

白：じゃ、家の中で日本語は、おと…あの、旦那さん【SA のこと（白岩は夫婦そろった場面で SA のことを「旦那さん」と呼んでいたの、この場面でも「旦那さん」と呼んだ）】に対しては使わながっ…

SA：う…、あ、あの、父が、こ、こう僕と？

白：そうそう。お父さんが、その旦那さん…

SA：あー、日本語？

白：ええ、日本語。

SA：えー、まあ、混ざ…、混ぜてね。

白：あ、混ざって。

SA：混ざって**

白：やっぱり、コロニア語【移住地のポルトガル混じりの日本語】みたいな*
*

SA: そうそうそう。そして、母はここ【ブラジル】生まれでも、あの、日本語は使ってたのね。でも…

白: お母さん、2世?

SA: 2世。(白: ふーん) そう、2世。でも、日本語は、あー、話してたけど、あ、僕らたちに、…には、あまり。まあ、ま、混ざって話してたね。

■ ブラジルでの生い立ち／家族の話 (12:45～)

白: お母さんはどこの人ですか。お母さんのお父さん、お母さん。

SA: えー、あの、ぱら【Parana《パラナ州》の言いさしか】、あの、おー(白: もう、*)は、母は、えー、Ozvaldo Cruz《地名: オズバルドクルス》の(白: ふーん) ちょっと、あの、えー、São Paulo《サンパウロ州》は São Paulo《サンパウロ州》だけど(白: うん) もうちょっと、お、お…

白: 奥のほう?

SA: はい。

白: **、お母さんのほうのおじいちゃん、おばあちゃんが日本の何県とかは全然わからないですね。

SA: えーと、acho que《たぶん》福島だったって思うね。

白: お父さんもお母さんも福島?

SA: não《いや》、(白: ふくし…) おと、お父さんはそう。**

白: お父さんは福島ですね。

SA: そうそうそう。お母さんは、もう、acho que《たぶん》、福島って思う。(白: あー) あの、んー、ばあちゃんね。(白: ばあちゃん) あの、母のばあち、あの…

白: ばあちゃん*、お母さんのばあちゃんもじいちゃんも。

SA: ええ。たぶん福島って思うね。うん。

白: じゃあ、もう、ここはもう、みんな福島。

SA: [笑] んー、ばあちゃんと、あの、あまり、あ、会ってないの。

白: 会ってない?

【ここから背後で電話で話す声が入り、そのなかに個人情報が含まれる可能性があるため、その箇所 45 秒ほどをカットする】

SA: すごかったね。えー、だから母はすごく、あの、苦労して(白: うん) た、

談話 6

^{たれ}誰 もいなかったし、mamãe 《お母さん》 もいなかったし。その Ozvaldo Cruz
《オズバルドクルス》の町で café 《コーヒー》（白：café 《コーヒー》）や
ったたの【コーヒー店の意味ではなくコーヒー園のことだと思われる】。
（白：ええ）うん、すごく働いて、あの、勉強もできない。あー、2 年生ま
で（白：ええ）***** 【アシオカサンと聞こえるが不明】、（白：え
え、ええ）あー、母は、あの、学校に行ってる。

白：もうあとは、でも trabalhar 《仕事する》？【通常のコロニア語の規則では
3 人称現在の trabalha、ないし名詞の trabalho と言うべきだが誤って動詞
原形で言っている】

SA：そう。nada 《何も》、あの、僕の父と結婚してから、s、so 《ただただ》働
いただけ。

白：働いて、働いて。

SA：うん。ま、日本に、あの、働きに行った。

白：あ、そうなん…、（SA：えー）いつご、いつですか？ いつ…

SA：それは、あの、えー、にせん…、えー、（白：***）mil novecentos e noventa
《1990 年》。

【補足説明：日系人の出稼ぎ】100 ページ参照。

白：**noventa 《90 年》。

SA：うん。（白：あー）まあ、10…、10？、no、noventa 《90 年》…、あー、3
年…、^{よん}4、5 年前に帰ってきてる。15 年ぐらい日本に働い、***、帰っ
てきて、（白：ええ）また行ってね。うん。{間} あの…、「日本、あの、い
い」^ゆって言った。

白：あ、そう。{笑}

SA：うん、うん。

白：まあね、日本も、いいところ…

SA：あの、仕事、あの、あの、namorada 《ガールフレンド》と同じぐらい。【こ
この namorada とは白岩の当時の恋人のこと。談話収録前、恋人が病院で働
いていることを話していた】emf, emfermeira 《看護師》…

白：hospital 《病院》？

SA：hospital 《病院》。

白：hospital 《病院》

SA：não 《いや》、おー、まあ、e、emfermeira 《看護師》じゃない、あの、前、

hospital 《病院》っていうね、えー、ちょっと病気なあって、うちに帰るね（白：ええ、ええ）それを、あの、うちで見てたの。そう。薬とかやって、あの、^{しょく}食…、あの comida 《食事》（白：ええ、ええ）作った。（白：あー）そんなこと、仕事やって、ずっとね。

白：ずっと。

SA：はい。前、えー、あの、1 カ月はこの家とか、（白：ええ）あと、もし、その人よくなったら違ううちに行って。んー。

白：じゃあ、もう、お母さん、今は São Paulo 《地名：サンパウロ》で（SA：あ、もう）楽に暮らして…

【またここから背後で電話で話す声が入り、そのなかに個人情報が含まれる可能性があるため、その箇所 35 秒ほどをカットする】

SA：はい、んー、それ。でも、だから今、今、あー、あの、薬飲んで、えー、* *、ん、え、あの、そんなこと。あ、あ、でも、あの、なんていうの、んー、cozinha 《台所》、comida 《食べ物》とか、（白：cozi、んー、comida 《食べ物》とか）そんなことはもう全然してない。

白：してない。何歳ですか？

SA：もう、んー、76 ね。

白：76。

SA：はい。

白：まあ、それ * * …

SA：もうテレビぐらい見てるだけ。

白：テレビ、^{エネエチケー}N H K？

SA：^{エネエチケー}N H K もない。あの、妹んとこ、妹、não 《いや》今入れた、今入れたと…、acho que 《たぶん》、入れてて、うん。

白：お母さん【NE のこと】、風呂から上がりますね。そろそろ、でも…【調査を終えようとして】、あした早いんですか？ * * *、6 時半だった…

SA：não、não 《いえ、いえ》、だいじょぶ、だいじょぶ。

{間}

■ どんなことばを使うか／日本語学習の話（18:25～）

白：でも、じゃあ、こっちの、Pilar 《地名：ピラール・ド・スール（以下「ピ

ルール」)》の町で、じゃ、日本語は覚えた？

SA：ええ。

白：いつの間にか覚えた？ 誰かに習ったわけではない？

SA：não、não、não、não 《いやいや、いやいや》、前、あの、あの、の、農協でもね（白：ええ）あー、ね、日本から来た先生も、ここに、えー、6年いたの。（白：あー）あー、そしたら、あの、いつかは、どこかに、畑に行って、いろいろ話して、あの…

白：日本から来た人に？

SA：そうそうそう。ま、あの、向こう、向こうも（白：ええ）こっちと話す、するね、（白：うん）ま、聞きたいものもあるから、んー、ちょっと、あの、無理して少しことば、は、話して、すこ、ま、ほんとは、うちで、あの、（白：ええ）お母さんとお父さんで、あ、あの、少しずつ（白：うん）覚えていったって思う。

白：じゃあ、お父さん、お母さんとしゃべったのもあるけど、その日本から来た（SA：そうそう）その、しゃべったことのほうが多い？

SA：não 《いや》、違う。（白：* *）あの、おうち、não 《いや》、あ、ほんとは、あの、うちで話したほうが、あの、話、んー、使ったのほうが多いね。（白：ふーん）そして、あの、んー、たまに、えー、あの、日本人 1 世ね、よその人とか、あの、一緒、どっかに行くね（白：うん）あ、バスとか一緒に座って、そのときも話すして、やっぱり、あの、少しずつ、使って、使ったら覚えるね。

白：使ったら覚え…、だから、僕もこっち来て Português 《ポルトガル語》…

SA：だから、僕にも、あの、あー、その人、あー、えー、あー、あの、あの、えー、私に^ゆ言ったのね「あ、ことば、ちょっと変」とか、そん、そんなことを、き、いったの。あの、*、あの、僕も、き、聞いたことあるね。ま、それ、あの、えー、brincadeira 《冗談》、brincadeira 《冗談》ってね。

白：うん、brincadeira 《冗談》。

SA：うん、その人が僕に^ゆ言ったのね。うん。前の、あの、Pilar 《地名：ピラール》の人も日本人…

白：いっぱいいます？

SA：いてね。話すのね、んー、Português 《ポルトガル語》あまりできないから、

ん一、向こうも、あの、こちらも日本語で言わないかんから。うん。

白：〇〇【先生の名前 A】先生なんかは Português 《ポルトガル語》 しゃべることはない？【ここにいう「先生」とは、SA の子どもの通う日系人学校の、日本から来た先生】

SA：わ、あの、私？

白：うん、そうそう。〇〇先生【先生の名前 A】とかとしゃべるときには。

SA：あ、去年、あの、あの、私、あの、〇〇【役職名】だったの。（白：あ、そう）そのとき、えー、〇〇先生【先生の名前 A】といつも話して。（白：ふーん）**、〇〇先生【個人名】、ほんとは、あの、Português 《ポルトガル語》…

白：Português 《ポルトガル語》、しゃべれるでしょ、あの、人、けっこう。

SA：あの、えー、自分では使いたくないの。（白：あー）えー、でも、わかる。だから、eu 《私》、あの、私の場合、あの、もし、えー、日本語を全部話し、な、あ、話せ、できないけど、ポルトガル語 mis 【mistura 《混交》の言いさし】、あ、混ざって…

白：mistura 《混交》して？

SA：はい。そしたら、む、向こうはわかるから、それ、あの、そ、だから話できる。あ、もし、あの、〇〇先生【別の先生の名前 B】とかだったら（白：ええ）ポルトガル【ポルトガル語】できなかったら、全部お話しできない。

白：うん、そうですね。

SA：そうそう。あー、あの、ことば、eu 《私》、あの、使いたいけど、Português 《ポルト

ガル語》でしてるけど、日本語でし*、あー、あー、し、知らんから（白：ん一）全部聞きたいこととか言^ゆいたいこと、できない。うん。

白：あー。その、その卓球をやってるとき…【子どもたちとの卓球教室のこと】

【補足説明：日系人の学校】



ピラール・ド・スールのように日系人の多い街には日系人の建てた学校があり、日本語の授業がおこなわれる。写真は、ピラール・ド・スールの日本学校の校門。左側には鳥居が立つ。

談話 6

SA：卓球は、ほとんどポルトガル…、* * * *。

白：子どもたちは。

SA：うん。まあ、えー、あの、日本…、みんな、〇〇【子どもの名前】だの*
* * *。

【NE が風呂から上がってきたのを見て、NE に話しかける】

白：まあ、あの、【寝るのが】遅くならない…

NE：どうぞ、続けてください。

白：あ、そうですか。

NE：はい、どうぞ。

白：あと、まあ、5 分か^{じゅっ}10 分くらい。

NE：はい。

白：んー。【間】 んー。

SA：ま、子どもらは、あの、Português 《ポルトガル語》 だけで。

白：だけで。

SA：うん。

白：あー。

SA：なんぼ、に…、お、あの、家では日本語、あの、してても（白：ええ）まだ僕らは、あの、に、日本語…、ポルトガル語だけ。

白：あー。何人ぐらい卓球は来てんですか。

SA：今、投げてるのは 20 人ぐらい【ここでは「卓球をする」ことを「卓球を投げる」という。次ページからの会話を参照】。20 ちょっと。それ、会員も非会員もいるね、その中ね【「会員」とは日系人の協会の会員のこと】。

白：へえ。あ、そうか。

SA：はい。

白：非会員でも来てるんですね。

SA：はい。ブラジル人ね。

白：あーあーあー。ん、子どもらのやってるスポーツで人気なのは何ですか。

SA：今は、あの、陸上。（白：陸上）ま、それ、あ、陸上は〇〇先生【先生の名前 A】、あの、日本学校と（白：ええ）一緒だから（白：んー）一緒ってね、semana 《週》に 2 回ぐらい（白：んーんー）やってるから（白：んー）えー、卓球は、あの、日本学校と関係ないの。（白：あ、関係ない）やりたい

人は、違う人ね。(白：あー)で、そして、文協【日系人の「文化体育協会」】でやったような、あの、***【シウヴァと聞こえるが不明】vôlei《バレー》とか。

白：は一は一は一、うん、vôlei《バレー》とか。

SA：ええ、そしてサッカーと。

白：futebol《サッカー》はね、みんなやります**。

SA：うん。

白：女の子はやるんですか。

SA：サッカー？

白：サッカー。

SA：んー、não《いいえ》、ま、あ、〇〇【子どもの名前】とか、今日来てた人は、遊ぶのは遊ぶけど。

白：何で遊ぶんですか？

SA：そのサッカーとか。

白：サッカーで。あー、遊ぶのは遊ぶけど。

SA：まあ、もし、と、もし、友達でやってたら、ね。でも、【日系団体の】会館とかに行かないね。(白：あー)それは、そ、男だけ、やってるね。

■ コロニア語の特徴について (24:10～)

白：あと、こっちの人は、「卓球投げる」って言うんですね。

SA：うん。日本では？

白：卓球をする。

SA：「する」？

白：うん。

SA：あー。

白：サッカーも、な、「サッカー投げる」って言いますか。

SA：…は、「サッカーやってる」とか。{笑}

白：あの一、「vôlei《バレー》投げる」と…

SA：うん、【NEに助け船を求めて】então é escrever…《それで、書く…》tem

【補足説明：「卓球を投げる」という表現】ポルトガル語ではスポーツを「プレイする」ことを jogar と言う。jogar には「投げる」という意味もあるので、その直訳で、日系社会の日本語では「卓球を投げる」「サッカーを投げる」のような表現を使うことがあるようである。また、白岩が以前に訪れたボリビア日系社会では、同様の理由（スペイン語の直訳）で「サッカーを遊ぶ」という表現が聞かれた。ここではそのことを話題にしている。

que falar 《言わないといけない》

NE : あ、でも、よくブラジル人は、何でも「投げる」と。えー…

SA : だから、あの、jogo 《プレイ》 …

NE : ブラジル語【ブラジルのポルトガル語】で、jogar 《投げる・プレイする》
って。

【補足説明：ブラジル語】41 ページ参照。

白 : jogo 《投げる・プレイする》。

SA : jogo 《プレイ》、jogar 《投げる・プレイする》。jo…、それは verbo 《動詞》。

NE : はい。それを、ええ、日本語に直接訳して、(SA : * *、はい)「投げる」
にしちゃうんですよ。でも…

白 : やっぱり。

NE : ええ。日本ではそれ使われてないっていうのを知らずにそれを (白 : んー
んーんーんーんーんー) 使ってしまうんですね。だから、どれ、どんな
スポーツでもブラジル人が^ゆ言ってるの、き、聞いたら、たぶん、え、何で
も (白 : あー)「テニスを投げる」「野球を投げる」「ゴルフを投げる」…

白 : 「陸上を投げる」とは言わないでしょ、でも。

NE : 陸上は、ん、さすがに陸上は投げません。{笑}

白 : やっぱり、これ、球がないと。

NE : ええ。うん。

SA : そうそう。本当。ね。うん、うん。

白 : またひとつコロニア語…【「コロニア語を覚えた」の言いさし】

NE : ん、そうですね。これはもう。

白 : あと、シャワーを…

SA : 浴びる。

白 : 浴びる。 * * * * *

SA : そのことばはね、えー、私はあんまり使ってなかったの。(白 : あー) ここ
に来てから、あの、ね、* *、あの、(NE : * * * *) お父さん、お母さん、
使うから、僕は、あの、覚えたのね。

白 : あー。

NE : でも、日本だとお風呂ですか。お風呂、お風呂に…

白 : 「シャワーを浴び」、「シャワーを浴びてきた」っては言うんですけど、ここ
の人、ひょっとしたら「シャワーを浴びる」じゃなくて、「浴びた」とか「浴

びる」とかって言わないですか。「シャワーを」っていわずに。[間] あ、それはないか。

NE : そ…、あー、「シャワーを浴びる」。

白 : 「シャワーを浴びる」ってのは日本語ですけど (NE : はい) えっと、あの、「今日はもう浴びたか？」とか、あ、それは言わない。***

NE : あー、ゆ、あまり使わないかもしれ…、それは…

白 : あー、それはボリビア。うん、ボリビアにいたときには、そういう、なんか、あって (NE : あー) そうそうそう。あの一、Espa, Espanhol 《スペイン語》の、なんか影響*****。

【白岩が以前に行ったボリビアの日系社会では、スペイン語の影響で、単に「浴びる」と言っただけで「シャワーを浴びる」の意味になることがあった】

NE : へえ。

白 : んー、あと、あの、あっち【ボリビア】は卓球は「卓球遊ぶ」っていうんですよ、「卓球投げる」じゃなくて。

NE : 「遊ぶ」？ へえ、へえ、面白いですね。

白 : そ、そう。同じ、あー、jogar 《投げる》なはずなんですけど。

NE : へえ。へえ、「遊ぶ」。

白 : うん。

【NE が SA にポルトガル語で解説を加える】

NE : brincar de tênis ** 《テニスを遊ぶ》

SA : ん、em、em 日本語 tá certo falar que 《日本語では正しくは～と言う》、い、え、「卓球をする」ね。

NE : する。

SA : Porque eu “faço” tenis ***, ne? 《だから、私はテニスを「する」。そうだね》

NE : Eu não jogo… 《私は「投げる」のではなく…》、mas eu jogo tenis de mesa, eu jogo, jogar… 《だけど、私は卓球を「投げる」、私は「投げる」、「投げる」…》

SA : Não. 《いや》 É que quando você vai falar, aqui ó, “vou ‘jogar’ tenis de mesa,” ne, 《話すとき、えーと、「卓球を『投げる』」だろ？》 então entra “jogar,” ne? 《それで、「投げる」と言うだろ？》

談話 6

NE：ほとんどのスポーツが、ボールがあればたぶん…

白：やっぱ、「投げる」。

NE：jogar、jogar futebol 《サッカーをプレイする＝投げる》。

SA：そうそう。あー、バスケットもね。バスケット投げ…

NE：投げるだけでない、もう、け、蹴る、サッカーとかも。

白：サッカーも投げるって言いますね。

SA：そうそう。***

NE：jogar futebol 《サッカーをプレイする＝投げる》。あ、はい。投げる。投げます。{笑}

白：jogar 《プレイする・投げる》。サッカー投げる。

NE：ええ。こ、【腕で投げる動作をしながら】この投げるじゃなくて、ほんとの、プレーをするという意味での投げるんになってしまうんですよ。

SA：その、あの一、あ、うー、jogar 《プレイする・投げる》って、その verbo 《動詞》が jogar 《投げる》だから…

白：verbo 《動詞》がそう…だから…

NE：そうなんです。

白：もうそのまんま。

SA：それを、あの、うん。

NE：それを訳す（白：訳すと）日本語に訳すと「投げる」になってしまうんですね。

白：なるほど。

SA：ん、ん、ま、だから、あの、もう、ポルトガル語ではそれ^ゆ言っても、あの、errado 《間違ってる》じゃないの。

白：うん、それがもと。

NE：はい。

SA：そうそう。はい。

白：あ、あとは、あの、「先生、namorada 《恋人》 持ってる？」とか【ポルトガル語の ter namorada の直訳で「恋人を持ってる」という表現をしないか、という主旨の質問をした】

NE：【特定の先生のことを思い浮かべた様子で】あー、持っていないですね。{笑}

白：それは言い…、それは言い…、言いますか。

NE : ん、な、え？ te…。

白 : 「奥さん、持ってる、て、てる」。

NE : tem 《持ってる》ですね。tem um namorada 《恋人がいる》。

白 : Eu tenho namorada 《私は恋人がいる》を (NE : はい) そのまま翻訳して、僕は…

NE : 「います」じゃなくて「あります」、あの、tenho 《持ってる》、tem 《持っている》「持ってます」(白 : **) ですね。や、直接、訳…。

白 : **、います…、「お兄さん持ってます」とか、んー、そういうことは…

NE : 言いま、言いませんね。

白 : やっぱ言わない？

NE : ええ。

白 : ふーん。そこは日本語で言うわけ。

NE : はい。「namorada 《恋人》 います」

白 : ふーん。

SA : **、あー

NE : 「持ってます」は言わない。

白 : ふーん。

NE : 言わない…

白 : あ、あ、それは colonia 《移住地》によっても、うん、違うんでしょうかね。
こっちはやっぱりわりと、なんていうか、日本語らしい日本語 (NE : あー、
そうですか) 使ってるのかもしれないですね。

NE : あー、あとは、あの、(白 : うん) えー、「30 分」じゃなくて「半時間」って言う人がいます。

白 : あ、「半時間」。

NE : meia hora 《半分の時間》なんですよ。{笑} あー、そういえば、言う。ええ【ポルトガル語の meia hora の直訳で 30 分のことを「半時間」と言う】。

白 : 半時間。

NE : ええ。「あと 30 分で、な、何々」って言うんじゃないくて、「あと半時間で」。

SA : あの、えー、私の場合、あの、おー、ポルトガル語で (白 : ***) 考えてるから、そのことば、出っちゃう。あの…

白 : 出ちゃう。

談話 6

SA: うん。

白: ほかになんかそういうのありますか。

SA: はい?

白: 「半時間」みたいなそういう言い方。

SA: んと、「半時間」使う。

NE: ん、****…【ポルトガル語で何かしゃべろうとして言いさしになる】

白: **, あんまり使わ**

SA: うん。

NE: うーん。どんなことば…

SA: [笑] 話、してるとき、あの、**, 違う、あの、なんていう、短い話んとき、そんなこと、あの、あんまり、で、****

白: **, 出ないです*。

SA: うん。(白: うんうん) でも、ほかの、んー、ことやってて、い、一緒だったら、(白: うん) たぶんわかると思うね、あー、話出てね。

NE: で、あの、だ、以前、あの、日本語学校で先生をしてた 2 世の方が、その「半時間」って使ってた。

白: 「半時間」って。あ、じゃ、もう。

NE: あと、えー、あれは、な、どこかの方言が混ざってたんだと思うんですけど「早くはわ、は、ん? はわきなさい」?

白: 「はわきなさい」?

NE: 「はわく」と、「はわく」っていうことば、どこかで。

白: ええ、ええ、それ、九州ですね。九州だったら。

NE: あー、たぶんその影響があったのか。

白: 2 世の人?

NE: はい。(白: あー) で、子どもたちにもそれを教えてたから、わーっと思って。

白: あ、そう。

NE: ええ。(白: あー) 「はわく」と、あとは、あの^ゆ人、なんて言って…、「なおす」、何かを「なおす」。(白: あー、うんうんうんうん) 「なおす」って、

【補足説明：西日本方言の語彙】

日系社会では西日本出身者が多数だったため、「はわく」「掃く」の九州方言)、「なおす」(「片づける」の西日本方言)など、西日本方言の語彙が広まったようである。「半時間」も、ポルトガル語の直訳ではなく、どこかの方言に由来する可能性もある。

あ、…もどこかの方言ですよ。『なおす』…

白：あれは、あれも九州とか四国とか、そっちの方言。

NE：ですよ。

白：大阪もそうです。

SA：****。

NE：あー、共通語は…、なお…

白：『片づける』。

NE：『片づける』。

SA：んー、porque minha mãe usava …《私のお母さんは…を使ってたんだ》

NE：『なおす』？【『なおす』を使っていたのか、という SA の発話の補足】

SA：うん。

NE：あー。

白：あ、使いますか。

SA：うん、あの、母ね。

NE：わりとうちの母からそういうの聞かなかったの、最初『えっ』って思っちゃったんですけど。うん。で…【NE の母親は福島県出身の 1 世】

白：あー。それはね、福島の人使わない、絶対。

NE：あー、だからですね。[間] うちの母は、あまり福島弁を使ってるんか使っていないかわからないような日本語を使ってますから。

白：あの年であんなになまりが少ない人は、やっぱり福島には、(NE：あー) あまり、あの、田舎のほうにはいないです。

NE：なんか、ほんの短期間だったんですけど、東京のほうで電話の仕事をしてたみたいで、*、(白：あー) どうしても、その、なまりを取らなきゃいけない仕事に一度ついたことがあるみたいなんです。はい。

白：あ、それ、あ、そうですか。昨日、話してくれなかった、そんなこと。【白岩は NE の母親に前日に会っている】

NE：ええ。だから、そういうことで、あの、なまりを、なお、直す (白：んーんー) たぶん努力したんじゃないかなと思うんですけど。で、ブラジルに来ちゃったら、それこそね、あ、あの、どっちか、どっちを子どもに教えるかとなると (白：んー) やっぱり共通語になりますよね。

白：共通語、んー、そうですね。お父さんは、けっこうなんかこう…

談話 6

NE : あー、なまりが。

白 : 福島のなまりが。

NE : ええ、ありますね。

白 : で、なんか、こう、コロニアの男っていうか。

NE : {笑} はい。

白 : じゃあ、すいません、ありがとうございます。(NE : はい) だいたい、うん

(NE : はい) まあ、これぐらい【録音が】とれれば…